

SPUR

VOL.67

-2023-



TOHOKU UNIVERSITY SKI TEAM

SPUR

目次

OB 寄稿文	… 3
部長文	… 4
監督文	… 5
インカレ観戦記	… 7
インカレ体験記	… 9
九大戦観戦記	… 10
九大戦体験記	… 12
令和4年度成績表	… 14
部長・監督紹介	… 21
部員紹介	… 22
活動報告	… 28
幹部文	… 29
部員文	… 33
令和4年度会計報告	… 66
令和4年度寄付金報告	… 67
学友会スキー部部則	… 70
スキー部部員名簿	… 74
スキー部 OB・OG 名簿	… 80
広告協賛一覧	… 96
奥付	… 97

OB 寄稿文

昭和43年卒 原田有造

昨夏からの両下肢の痺れを伴う痛みに悩まされながらも、金ヶ崎先輩のご考案の楽に滑るスキー術をマスターすべく、昨シーズンはセントメリースキー場に十数回通いました。カービングだけでは斜面後半でスピードが出すぎて、テールをずらして減速しないと滑れなかったミルキーウェイというコースをはじめから終わりまでテールをずらさず、一定のスピードで楽に滑ることができるようになり、自分勝手ですがある程度はできるようになったのではないかと思っています。確かに何本も滑っても足にきません。金ヶ崎先輩には教本をお送りいただいたり、動画をお送りいただいたり大変お世話になりました。お礼を申し上げます。両下肢の激痛は残念ながら進行し続け、原因不明で西洋医学の全ての病院に見放され難儀していますが、自然療法で治癒すべく挑戦しています。来シーズンも妻とともにスキーを楽しめる望みをもって頑張るつもりです。

部長・副部长交代のご挨拶と近況報告

スキー部長 青木俊明
(平成五年卒 国際文化研究科 教授)

令和五年度より、風間 聡 前部長の後任として学友会スキー部部长を務めさせていただくことになりました青木俊明と申します。学生時代はアルペンに所属しており、都合がつけば、現在でもマスターズレース等のSAL公式戦に参加しております。風間前部長は、新型コロナウイルスの流行といった過去に例のない事態の中で、スキー部の活動環境の確保や部誌SPURの電子化など、多大な労を執ってくださいました。風間先生の学内外でのご活躍を知っている身からすれば、文字通り、獅子奮迅のご活躍だと言えます。また部長交代に伴い、副部长も土屋史紀先生(平成七年卒、マ、理学研究科 教授)に交代いたしました。風間前部長のご貢献には及びませんが、土屋副部长とともに、精一杯務めさせていただきます。これまでと同様、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

さて、昨年は多くのOB・OGの皆様にご参加いただき、学友会スキー部創部七十周年記念式典を無事に開催することができました。出席が叶わなかったOB・OGの皆様からも多くのご寄付を頂戴いたしました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルスの流行による危機的な状況も去り、東北大学も以前の状態に戻りつつあります。講義も対面開催が原則となり、部活動も以前と同様に取り組めるようになりました。合宿や宿泊を伴う遠征も可能になったため、スキー部の活動環境はほぼ元通りになったと言えます。

各種大会も通常通りに開催されるようになりました。野沢温泉スキー場で開催されました国立九大学スキー選手権では、男子は準優勝、女子は優勝し、東北大学が総合優勝となりました。この大会は七大戦(旧帝大戦)を兼ねており、東北大学の七大戦十連覇にむけた先陣としてスキー大会が開催され、スキー部は期待通りの活躍となりました。インカレの詳細につきましては、インカレ報告をご覧いただければと思いますが、男子は二部十二位、女子は二部五位という結果になりました。現在のインカレは、男子が三部制、女子が二部制となっているため、昭和や平成初期とは状況が異なりますが、国公立大学のなかでは五指に入っており、部員たちは変わらず頑張っております。

最後に、国公立大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、東北大学も例外ではありません。川渡セミナーハウスが閉鎖されたことからお察しいただけると思いますが、スキー部が萩雪ヒュッテや活動環境を維持していくためには、OB・OGの皆様のご助言やご支援が不可欠になります。今後とも、学友会スキー部に対してご厚情を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

監督文

令和三年度卒 小林幹太

今年度より東北大学学友会スキー部の監督を務めさせていただきました。理学研究科博士前期課程二年の小林幹太と申します。現役時代にはコンバインドに所属しておりました。前監督の浅野先輩より引き継ぎを受けたばかりで、不慣れな部分もあるかと存じますが、監督として現役をサポート、また現役とOB・OGの皆様とのつながりを守って行けるよう努めてまいります。

今日においてもコロナウイルスに対する感染対策は講じられるものの、当部の活動はようやく実質的な制限はなくなったといえます。昨年度は蔵王・鹿角・白馬で合宿をするだけでなく、各部門の幹部を中心に現地でお世話になっている指導者・OB・OGの方々との関係を築き、練習環境を整えるための大きな進展がありました。結果として九大戦では三年ぶりの総合優勝を果たし、インカレや全国公でも功績を残す事が出来ました。

しかし、上から物を言うようではありませんが、当事者意識を偏りなく持つ事が今の現役には必要と考えます。当事者には二つの要素があると捉えています。

一つ目は、部が掲げた目標を学年関係なく意識して活動する事です。普段の練習・合宿生活において、後輩だからまだ出来なくてもよい、考えなくてもよいと思う必要はないと考えています。私自身、現役時代に先輩や指導者の方々にアドバイスをもらいに行き、一頃スキージャンプとクロスカントリースキーの共通点を教わってからは、それを身体で実践できるよう練習を自分なりに工夫していました。初歩的かもしれませんが、技術・集団行動に関わらずやるべき事は何か考えて動き、必要に応じて意思疎通を取る事が重要です。出来る事、分かる事を増やし、部の目標を達成するために具体的な自身のビジョンを持ってからが部活動の醍醐味と考えています。

二つ目は、自分たちが使える用具・時間・環境を常に意識する事です。私も現役時代に自覚したのは遅かったですが、部活動をするために必要なものは全て歴代の先輩方が残してくださったものです。何かしらのものには恵まれ、直近の活動において心配する機会は少ないかもしれませんが、それは先代の努力の結果であり、失った際の事態を想定しなくてはなりません。そして、今なお不足しているもの・新しく必要となるものにも気づいていると思います。もしかしたら伝統にとらわれず補える事があるかもしれないと。課題が一時的なもの、継続的なものを見極め、何のために伝統があるかをこの一年間で感じ取ってほしいと考えています。

以上の二点を現役に期待しております。学業もアルバイトも両立すればカツカツになる事があるかと思えます。そんな中でもスキー部で頑

張る現役を私は支えたいと考えています。最後になりますが、今年度の現役の活躍に期待しつつ、当部の活動にご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

今年度のインカレ観戦記を書かせていただきます。四年マネージャーの黒田です。よろしくお願ひします。

インカレから約五ヶ月が経ちましたが、後輩のSPUR委員から依頼をもらって今大会のことを思い出してみました。七月となった今では、毎日セミが鳴くぐらいに暑いです。某青い鳥のSNS、Xにて、十二年ぶりの猛暑というニュースを見ました。インカレの頃は車に10cm以上も雪が積もっていて、みんなで早起きしてせっせと雪下ろしをしていたなど考えるとなんだか不思議な感じがしてきます。

マネージャーという立場の特権により、インカレ期間中は比較的時間に余裕を持ちながら、ほぼ全ての競技を観戦できました。(アルペン部門で唯一スーパー大回転に出場した山田唯人の試合に関しては、できれば観戦したかったのですが、日程が異なったため叶いませんでした。)私は大会役員の仕事をしつつ、時間があれば東北大が出場している種目の試合に向かってビデオ撮影をしていたので、誰よりも試合の観戦を楽しむことができていたと思います。ありがたいです。

まずアルペン部門について。アルペンは出場者が多いため、今か、今かと部員の出場を待ち、カメラを片手に待ってスタート地点を見つめていました。インカレでヒヤヒヤするのは、スタート付近の急斜です。SPURを読まれているOB・OGの皆さんも、お心当たりがあるかもしれないですね。スタート付近でコース外になってしまう選手が毎年一定数いて、とにかくゴールまで降りてきてほしいという気持ちでいつも見守っています。今回は半数ぐらいの割合で、降りて来られた人、コース外になってしまった人がいました。それぞれ悔しさや達成感などいろいろな気持ちを抱えていると思います。その気持ちは私には推し量れないですが、各々が目標を設定し来年へのモチベーションになったらいいな、と思います。

ジャンプ競技は、比較的大人数で一丸となって観戦することができました。ジャンプはおそらく他の競技と被っていないくて、時間の都合が良かったのだと思います(記憶が曖昧ですが)。そのため、声援や撮影などサポート体制は万全で、マネージャーの私も応援だけに徹することができました。目を引かれたところでいうと、やはり大坪さん(当時四年)のジャンプは迫力がありました。順位もジャンプ単独では四位とかなり上位に食い込んでおり、さすがだな、と感じました。上級生のジャンプを見ていると、大学生活でコツコツと磨かれてきたフォームの美しさや、飛距離の長さに毎度驚かされます。また、先輩それぞれの飛び方に個性があり、ジャンプ競技の奥深さを感じます。日々悩みながらジャンプに取り組んでいる下級生の選手たちも、いつか努力が実を結び、もっと遠くに飛べるようになって、後輩の憧れになってくれる

の दौरान、と 思います。大坪さん含め、ジャンプ競技で活躍されてきた先輩方も、皆さん大学からジャンプを始められたことを考えると本当にすごいですね。

少し話が逸れてしまいますが、ジャンプの練習や試合中に起きた怪我によって、競技に全力で取り組めなかった部員が複数いたことを非常に悔しく感じました。競技に全力で向き合うからこそ起きる怪我なので、それぞれ言葉にできないくらい悔しい思いをしていたと思います。焦らずに怪我を治して、来年度は皆が良好なコンディションでインカレを迎えて欲しいですね。そのために私もサポートを頑張りたいと思います！

次にクロスカントリーについてです。女子部門では加藤杏菜が、当時一年生ながらも大活躍でした。リレー競技でも杏菜に加え、当時四年生の岩佐帆夏、当時三年生の小澤わかばの三人が大健闘し、三位入賞となりました。アンカーの帆夏が他校選手をごぼう抜きして帰ってきたのを見た時は、涙が出そうなくらい感動し、思わず声援に熱が入りました。男子の部でも終始熱いレースが繰り広げられ、同じく三位入賞という素晴らしい結果となりました。当時四年の堀さん、中田さんの健闘はさることながら、当時一年でリレーメンバー入りした吉田溪人も、東北大スキー部の未来を感じさせるような圧倒的な走りでした。インカレの最終日、スキー部ほぼ全員で応援したリレー競技は、感動の嵐で非常に心に残る思い出になりました。

最後に、今回のインカレにおける目玉の一つに、応援団の復活がありました。コロナの関係で前年度・前々年度は応援に来られなかった応援団の皆さんが、今年は吹雪の中素晴らしい演舞を披露してくださいました。各校でリレー競技の応援が盛り上がる中、東北大の応援は一目を引いていたことを覚えています。走者の皆さんもきつと心強かったのではないのでしょうか。——応援の力はすごいな、というのをひしひしと感じさせられます。「たかが応援、結局頑張るのは本人」と思いがちですが、それでも最後に背中を押してくれるのは周りの人の言葉だったり、パワーが湧くような音楽の力だったりするのかなと思います。私もこれまでマネージャーとして活動をしてきて、自分には応援しできないという無力感を感じることがありますが、応援団の皆さんに少し自信をもらえた気がします。…なんだかいい感じに締められたので、このあたりで観戦記は終わりにします。今年のインカレでも、更なる飛躍を目指してスキー部全員で頑張っていきたいと思います！

ランナー3年の山西です。昨年度の2月23日〜2月26日に鹿角で開催されたインカレの体験記を書きます。私は絶対的な順位というよりかは、九大戦で勝てなかった他の選手に勝つことをインカレでの目標にしました。九大戦の時点でクラシカル、スケートイングともに長い距離を走り続ける練習が足りていなかったと感じていました。レース前半は快調に滑るのですが、後半にかけての体力不足を感じていました。例えば後ろから自分より少し速いぐらいの人に抜かされてもついていくほどの体力が残っていないことが多くありました。また特にクラシカルでは腰痛に悩まされてきました。九大戦での自分の滑りを見返してみると、ダイヤゴナルで前にいこうという意識が強すぎて前かがみの姿勢になっていました。そこで、インカレ前の絆合宿では長距離を走る練習をメインにすること、クラシカルの滑りの改善を目標に練習してインカレを迎えました。

まずインカレのクラシカルでは、順位は満足していませんが、自分なりに九大戦での反省をふまえた滑りができました。15kmのクラシカルレースは初めてだったので、インカレ前に練習したダイヤゴナルがレースでできたと感じます。またその先の全国公、来年のシーズンで次にどんなこと練習をすべきか見えたレースだったと思います。

スケートイングのレースは私が一番自信のあるレースでした。特に絆合宿中に距離を滑りこんで、クイックやスーパードのフォームをしっかり固めた上でレースに臨みました。順位的にも滑り的にも自分の納得のいく滑りができました。特に自分の体力を全て出し切って10kmを滑りきれたということが自分の中で自信になりました。また、先輩や他大の人たちと競い合えて滑っていて楽しかったです。

リレーはメンバーに選ばれなかったもので、全力で応援しました。結果は3位ですごく誇らしい結果でした。もちろん嬉しさもありましたが、実際は嬉しさ2悔しさ8ぐらいです。自分もあのメンバーの中で滑りたかったという気持ちが強いです。今年度のインカレでは昨年度以上に順位や結果にこだわっていきたいと考えています。長距離をガンガン滑る練習はもちろんですが、ダッシュ系の練習をして最大出力を上げたり、積極的にコーチやレッスンを使ったりして昨年度以上の結果を残せるように頑張りたいと思います。

2022年12月29日から2023年1月3日にかけて第99回九大学が野沢温泉スキー場で行われました。東北大学は女子総合優勝、男子総合準優勝、男女総合優勝との二回大回で阻まれた9連覇の雪辱を果たすことが出来ました。ここでは、コンバの部員が出場した競技について述べさせていただきます。

● 12月29日 女子5 km フリー、男子10 km フリー

この日はやや曇り気味で少し寒い日でした。もはや最後の一周でひーひー言っていた記憶しかなのですが、過去の自分の記録によると圧雪がよくされていて滑りやすかったそうです。女子5 km フリーでは岩佐選手(3)が優勝しました。最後までフォームが崩れてなくて圧巻の滑りでした。2 km 地点の緩い上り坂でもスノーバーでゴリゴリ進んでいてすごかったです。また、加藤選手(1)の大躍進もありました。上級生が多い中6位と1年生では飛びぬけた成績を記録しました。順位の高い順から学年は3、4、4、2、4、1、4、4、2、2、4、3、1、1、1、1となっています。一つだけ1が変な位置にいるのが加藤選手(1)です。いかに圧倒的だったかわかりますね。小澤選手(2)もコンバであるにもかかわらず2年生の中で2位と、とてもいい滑りでした。

男子10 km フリーでは吉田選手(1)が全体5位と素晴らしい結果を残しました。本人によると最後1 km で両足がつっていたそうです。それでも完走しきれぬ気力が見習い限りです。東北大学から出場した選手は中田選手(4)9位、山西選手(2)10位、村上選手(2)17位、齋藤選手(1)23位、今井選手(1)25位と続きます。上位陣の選手たちはペース配分を考えた走りが出来ていました。自分は初めてのレースで序盤飛ばしすぎ、後半へとへとだったので、以降のレースに活かしていきたいと思えます。

● 1月3日 純飛躍・ノルディック複合

まずは結果を載せます。

男子純飛躍

1 位 大坪選手(4)、 8 位 村上選手(2)、 11 位 田中選手(1)、 12 位 谷選手(1)
女子純飛躍

2 位 小澤選手(2)、 6 位 尾碕(3)
男子ノルディック複合

7 位 村上選手(2)、 9 位 田中選手(1)、 11 位 大坪選手(4)、 12 位 谷選手(1)
女子ノルディック複合

3 位 小澤選手(2)、 5 位 尾碕(3)

天候不良のためPCRの純飛躍・複合飛躍ともにPCRの結果となってしまいました。また、雪不足のためスモール開催という異例続きでした。その中でも純飛躍で大坪選手(4)が1位と圧倒的な強さを見せてくれました。最初のジャンプでは着地の形が崩れてしまったのですが、次からは修正していきさすがの対応力でした。女子では小澤選手(2)が純飛躍、ノルディック複合の両方で活躍しました。特にジャンプでは思いつ切り足を張っていて飛距離が伸びていました。尾碕選手(3)は怪我からの復帰で久しぶりのジャンプではありましたが、ビビらないで勇敢に飛んでいました。涙があふれる場面もあり個人的に尾碕選手(3)の活躍が見られて嬉しかったです。また、純飛躍・複合飛躍共に誰も転ばず怪我なしで終えることが出来たのは嬉しい限りです。後半のクロカンは大吹雪の悪天候の中、ふわふわの雪をかき分けて進むようなレースでした。かなり過酷だったようで全選手かなり苦戦が見られました。その中でも小澤選手(2)は他校の4年生の方々に食らいついてガッツのある滑りを見せました。

● 1月3日 リレー

女子1位、男子3位という結果でした。特に女子が圧倒的で、アンカーの岩佐選手(3)が東北大学の旗を持ってゴールインしていかっよかったです。

以上長くなりましたが九大戦観戦記を締めくくりたいと思います。自分は怪我であまり出られなかったのですが来年以降、本大会の諸先輩方のように活躍できるように練習を積みたいと思います。

「九大戦総合優勝」。昨年果たすことができなかったと先輩たちが悔しさをにじませていた。それまで八連覇しており、それが途絶えてしまったことは相当な雪辱だったに違いない。自分はクロカンの経験者としてこの部に入学してきたので、最低でもポイントを獲得しなければならぬと感じていた。そのような気持ちで野沢温泉に向かった。

自分はランナーとしてフリー、クラシカル、リレーの三種目に出場した。12月29日のフリーでは第一シードとしてエースの走りをしなければならぬと決めていた。周りの実力もわからないまま出走し、必死に食らいつくレースができた。1周目は東大の上田さんにペースを作ってもらう形になって、2周目は離されてしまい結果として5位。得意なフリーでの表彰台を目指していただけに、悔しかった。トップとは1分半差、まだまだだと痛感した。しかし、最低限のポイント獲得ができてよかった。12月31日のクラシカルは自分が苦手なのでポイントを取ることを目標に走った。結果として8位。目標は達成できたが、賞状を獲得できなかったことにすこし悔しいと思った。あとなかずさんに2秒負けしたのも悔しかった。転倒もあったが、そんなことを言い訳にはできない。入賞までの約30秒をどう削るかを考えなければならぬと感じた。1月3日のリレーでは正シードのアンカーとしてどんな順位来ても最高の滑りをすると決めていた。3位でバトンをもらい、前を必死に追ったが順位はそのままゴールした。区間賞の走りをできたのはよかったが、この順位に悔しいと感じた。なかずさんが四人抜きしてくれたのもすごかった。

結果として東北大学は総合優勝を果たしたが、ポイントの多くがほのかさんであり、来年以降も優勝するとなると、一人が大量得点することよりも多くの人でポイントを獲得する必要があるだろう。そのためにできることは我々二年生の活躍が不可欠である。他大学の二年も実力をつけてきており、油断はできない。また、先輩を食って掛かるくらい成績を残さないことには来年の総合優勝は確実なものにはならないだろう。少ない時間でどれだけ効率よく練習するかがこの先重要となるだろう。板に乗れるようになってから九大戦まで約一か月。北海道に行かない人であれば、週末にフォーム確認やポイント練習をする程度しかできないだろう。その中で自分は前のシーズンからいい意味でも悪い意味でもどこが変わったのかを認識する必要がある。ポイントの中で多くを支配するリレーで上位を目指すのであれば集団として走力を上げなければならない。今年はその成し遂げるために練習を組んでいけばいいのではないかと思う。120分完走だけだと自分で甘えることも可能となるが、集団走にすれば自分より速い人に食らいつかうとする精神を鍛えられるのではないか。来年は集団として強い東北大学スキ

1部を体现したい。

最後に来年の九大戦の目標を書いておこうと思う。来年は個人とリレーの三冠を達成することを目標としてがんばりたい。一人が多くのポイントを取るのではないと上の方で書いたが、1ポイントでも多く稼いでチームに貢献していきたい。周りの人を寄せ付けない走りをしてきたいと思う。そのために夏のトレーニングをおろそかにしないようにしたい。今年度も東北大学スキー部をよろしく願います。

第 62 回国立九大学スキー選手権大会							
野沢温泉スキー場							
男女総合 1 位 男子 2 位 女子 1 位							
		男子 GS			男子 SL		
正シード	順位	名前	合計	順位	名前	合計	
		2	山田 唯人	1:08.67	4	山田 唯人	1:14.97
		15	渡部 新	1:11.10	12	渡部 新	1:23.37
		18	石橋 賢	1:11.93	20	石橋 賢	1:27.82
		29	郭 啓悦	1:14.43	28	郭 啓悦	1:35.66
		女子 GS			女子 SL		
正シード	順位	名前	合計	順位	名前	合計	
		2	岩佐 帆夏	1:14.68	5	岩佐 帆夏	1:42.78
		男子スペシャルジャンプ			女子スペシャルジャンプ		
正シード	順位	名前	合計得点	順位	名前	合計得点	
		1	大坪 奏祐	95.7	2	小澤 わかば	80.8
		8	村上 大空	70.5	6	尾碕 明	44.7
		11	田中 遼真	54.8			
		12	谷 祥太郎	53.3			
		DS	齋藤 瑛斗				
男子ノルディック複合							
正シード	順位	名前	ジャンプ得点	タイム			
		2	村上 大空	78.8	25:12.1		
		9	田中 遼真	49.9	26:03.4		
		11	大坪 奏祐	90.6	31:07.4		
		12	谷 祥太郎	52.8	31:35.6		
女子ノルディック複合							
正シード	順位	名前	ジャンプ得点	タイム			
		3	小澤 わかば	77.6	13:51.7		
		5	尾碕 明	46.2	15:37.7		

	男子 FR10km			男子 CL10km		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	5	吉田 溪人	33:31.1	7	中田 和真	40:29.7
	9	中田 和真	35:02.2	8	吉田 溪人	40:31.8
	11	山西 友貴	35:15.4	15	山西 友貴	42:28.3
	17	村上 大空	37:00.0	26	今井 敬裕	47:12.8
	23	齋藤 瑛斗	37:55.4	DS	嘉齊 琉聖	
	25	今井 敬裕	38:43.8	DS	宮崎 真瑛	
オープン	12	嘉齊 琉聖	40:09.9	11	西村 大佑	51:51.1
	14	田中 遼真	41:56.4	DS	渡邊 梓	
	17	渡邊 梓	45:02.6			
	18	宮崎 真瑛	46:13.6			
	19	谷 祥太郎	46:19.0			
	20	小川 史温	46:51.4			
	25	阿部 拓人	50:00.8			
	DS	西村 大佑				
	女子 FR5km			女子 CL5km		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	1	岩佐 帆夏	18:48.7	2	岩佐 帆夏	22:13.8
	6	加藤 杏菜	20:58.3	5	加藤 杏菜	24:16.4
	9	小澤 わかば	22:35.7			
	男子 5km×4 リレー(F・F・F・F)					
正シード						
順位	走順	名前	タイム	合計タイム		
3	1	山西 友貴	24:49.1	1:29:28.2		
	2	中田 和真	23:17.3			
	3	村上 大空	21:40.6			
	4	吉田 溪人	19:41.3			
オープン						
順位	走順	名前	タイム	合計タイム		
7	1	西村 大佑	28:49.6	1:55:25.8		
	2	田中 遼真	34:34.9			
	3	阿部 拓人	29:22.1			
	4	山西 友貴	22:39.2			

順位	走順	名前	タイム	合計タイム
9	1	今井 敬裕	27:32.5	1:58:02.5
	2	谷 祥太朗	36:39.1	
	3	小川 史温	28:17.5	
	4	山田 唯人	25:33.4	

秩父宮杯・秩父宮妃杯 第96回 全日本学生スキー選手権大会						
アルペン：花輪アルペンコース、磐梯猪苗代センターコース						
クロスカントリー：花輪スキー場クロスカントリーコース						
ジャンプ：花輪スキー場花輪シャンツェ ミディアムヒル						
男子2部12位 女子2部5位						
男子2部SG						
	順位	名前	1本目	2本目	合計	
	25	山田 唯人	1:12.90		1:12.90	
男子2部GS						
	順位	名前	1本目	2本目	合計	
	31	澤田 真拓	1:04.67	59.85	2:04.52	
	35	塩倉 颯瀬	1:08.03	1:01.63	2:09.66	
	DF	渡部 新				
	DF	石橋 賢				
男子2部SL						
	順位	名前	1本目	2本目	合計	
	29	澤田 真拓	55.59	53.36	1:48.95	
	55	石橋 賢	1:11.73	1:06.91	2:18.64	
	61	塩倉 颯瀬	1:26.83	1:01.74	2:28.57	
男子2部FR10km				男子2部CL15km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	15	吉田 溪人	29:47.1	13	堀 倫彰	47:12.5
	19	中田 和真	31:16.3	22	吉田 溪人	49:31.4
	23	山西 友貴	31:39.7	23	中田 和真	49:35.2
	32	堀 倫彰	33:00.0	24	山西 友貴	50:58.9
	37	今井 敬裕	33:52.9	34	今井 敬裕	53:21.9

女子2部 FR5km			女子2部 CL10km		
順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
9	岩佐 帆夏	17:15.7	5	岩佐 帆夏	40:04.8
11	加藤 杏菜	18:05.0	11	加藤 杏菜	43:50.7
20	高田 朋美	19:29.6			
26	尾碇 明	21:34.6			
男子2部 ミディアムヒルススペシャルジャンプ					
順位	名前	1本目	2本目	合計	
4	大坪 奏祐	59.6	57.3	116.9	
13	永島 史帆	33.7	27.2	60.9	
17	田中 遼真	30.9	26.3	57.2	
20	谷 祥太郎	20	DS	0.0	
DS	村上 大空				
女子2部 ミディアムヒルススペシャルジャンプ					
順位	名前	1本目	2本目	合計	
3	小澤 わかば	35.7	35.2	70.9	
DS	尾碇 明				
男子2部 ノルディックコンバインド 5km					
順位	名前	ジャンプ得点		タイム	
13	大坪 奏祐	63.9		20:26.4	
15	田中 遼真	33.3		20:34.1	
16	永島 史帆	31.9		23:28.0	
女子2部 ノルディックコンバインド 5km					
順位	名前	ジャンプ得点		タイム	
4	小澤 わかば	34.8		23:56.3	
男子2部 5km×3 リレー(C・F・F)					
順位	走順	名前	タイム	合計タイム	
3	1	堀 倫彰	15:15.6	42:30.8	
	2	中田 和真	13:42.1		
	3	吉田 溪人	13:33.1		
女子2部 5km×3 リレー(F・F・F)					
順位	走順	名前	タイム	合計タイム	
3	1	加藤 杏菜	17:18.7	55:40.7	
	2	小澤 わかば	20:21.6		
	3	岩佐 帆夏	18:00.4		

第 44 回全日本国公立スキー選手権大会					
長野県白馬村岩岳スノーフィールド					
男子 SG					
順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
7	澤田 真拓	51.42		51.42	
16	塩倉 颯瀬	53.22		53.22	
19	渡部 新	54.02		54.02	
20	石橋 賢	54.16		54.16	
男子 GS					
順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
8	澤田 真拓	59.19		59.19	
16	塩倉 颯瀬	1:01.33		1:01.33	
18	渡部 新	1:02.22		1:02.22	
28	石橋 賢	1:05.59		1:05.59	
男子 SL					
順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
7	澤田 真拓	52.71	48.70	1:41.41	
14	塩倉 颯瀬	59.69	53.35	1:53.04	
17	渡部 新	1:00.49	54.73	1:55.22	
23	石橋 賢	1:07.09	1:01.96	2:09.05	
男子スプリント 1km 予選			男子スプリント 1km		
順位	名前	タイム	順位	名前	ラウンド
1	吉田 湊人	2:36.40	1	吉田 湊人	決勝
2	山西 友貴	3:02.53	6	村上 大空	決勝
9	村上 大空	3:13.70	9	山西 友貴	準決勝
11	今井 敬裕	3:20.44	11	今井 敬裕	準決勝
15	西村 大佑	3:23.88	17	西村 大佑	準々決勝
20	田中 遼真	3:35.61	18	田中 遼真	準々決勝
22	嘉齊 琉聖	3:36.17	20	宮崎 真瑛	準々決勝
24	宮崎 真瑛	3:39.21	24	嘉齊 琉聖	準々決勝

	25	小川 史温	3:42.49	25	小川 史温	準々決勝
	28	渡邊 梓	3:52.84	28	渡邊 梓	準々決勝
	DS	齋藤 瑛斗				
	DS	谷 祥太郎				
	DS	永島 史帆				
	女子スプリント 1km 予選			女子スプリント 1km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	ラウンド
	1	岩佐 帆夏	3:37.16	1	岩佐 帆夏	決勝
	2	加藤 杏菜	3:42.10	2	加藤 杏菜	決勝
	3	尾碕 明	3:45.12	3	尾碕 明	決勝
	4	小澤 わかば	3:47.14	4	小澤 わかば	決勝
	男子 FR9km			男子 CL6km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	1	吉田 溪人	37:19.1	2	吉田 溪人	26:46.9
	3	山西 友貴	38:53.4	3	山西 友貴	26:58.2
	6	村上 大空	41:21.8	8	今井 敬裕	28:56.3
	8	今井 敬裕	42:36.0	14	宮崎 真瑛	30:58.2
	16	嘉齊 琉聖	45:31.0	16	西村 大佑	31:51.1
	19	田中 遼真	46:44.4	20	渡邊 梓	32:34.5
	22	西村 大佑	47:03.7	24	嘉齊 琉聖	35:14.9
	27	渡邊 梓	50:24.0			
	28	宮崎 真瑛	51:06.0			
	32	小川 史温	54:30.2			
	DS	齋藤 瑛斗				
	DS	谷 祥太郎				
	DS	永島 史帆				
	女子 FR9km			女子 CL3km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	1	岩佐 帆夏	29:07.8	1	岩佐 帆夏	14:50.7
	2	加藤 杏菜	29:25.5	2	加藤 杏菜	15:45.8
	3	尾碕 明	33:29.9	5	尾碕 明	20:00.3
	DS	小澤 わかば				

男子 3km×4 リレー(F・F・F・F)				
正シード				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
1	1	山西友貴	10:09.3	42:50.7
	2	齋藤瑛斗	11:12.8	
	3	村上大空	11:21.6	
	4	吉田溪人	10:07.0	
オープン				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
3	1	西村大佑	13:03.0	52:12.1
	2	今井敬裕	14:04.6	
	3	嘉齊琉聖	12:50.8	
	4	田中遼真	12:13.7	
5	1	渡部新	16:17.9	1:03:18.1
	2	谷祥太朗	14:10.6	
	3	澤田真拓	18:56.5	
	4	宮崎真瑛	13:53.1	
女子リレー3km×3 リレー(F・F・F)				
正シード				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
1	1	加藤杏菜	12:35.2	41:28.1
	2	小澤わかば	14:27.2	
	3	岩佐帆夏	14:25.7	

部長・監督紹介



青木 部長

今年より部長としてスキー部のために尽力して頂いております。SPUR 関連のことにも携わって頂きました。部員一同より感謝申し上げます。



土屋 副部長

今年より副部長としてスキー部のために尽力して頂いております。これからスキー部の活動に関わって頂けるということで、よろしくお願いします。



安食さんご夫婦

ヒュッテの管理人をして頂いております。
夏合宿やアルペンの冬合宿、技術面のアドバイスなどでお世話になっています。



小林幹太 監督

今年より監督としてスキー部のために尽力して頂いております。初ジャンなどの行事活動にも参加して頂いております。今後ともよろしくお願いいたします。

部員紹介

一年生



飯田健人

口開いてる



菅野由剛

クラッシャー予備軍



猪川椋人

ポムポムプリン



齊藤雅也

おぼっちゃまくん



岡野祐也

zoom 繋がらない



品川咲季

二足のわらじ



尾白梓

おにぎり作ってる



鈴木さくら

イメチェンしました



高田光太郎

ドラマー



滝沢周大

山パン週3



谷口聖実

期待の経験者ラン
ナー



安村悠希

要注意人物

二年生



今井敬裕
ランナー
今どういう気持ち？



塩倉颯瀬
アルペン
オフ幽霊



加藤杏菜
ランナー
脳筋えりーと



田中遼真
コンバ
あたおか



齋藤瑛斗
コンバ
キャラ被り



谷祥太郎
コンバ
振り回される男



澤田真拓
アルペン
にやにや



西村大佑
ランナー
ピッチャー



宮崎真瑛
ランナー
The 数学科



吉田溪人
ランナー
むちむち



渡邊梓
ランナー
ボランティアきち
がい

三年生



小澤わかば
コンバ
あざとくて何が悪いの？



山田唯人
アルペン
彼女再募集中



永島史帆
コンバ
ムキムキゲコゲコ



山西友貴
ランナー
彼女できました



村上大空
コンバ
俺が主将だ！

四年生



石橋賢
アルペン
動ける脂肪肝



黒田凜生
マネージャー
乃木坂らぶ



岩佐帆夏
ランナー
アンチ部内恋愛



堀倫彰
ランナー
五回目の登場



尾崎明
コンバ
留学中だよーん



渡部新
アルペン
学生結婚

コロナ禍における活動報告

村上 大空

今年度から新型コロナウイルスの5類感染症への引き下げにより、依然として注意が必要な状況ではありますが、制限のなく活動が出来ます。対面での新歓も行うことが出来、ありがたいことに今年も12人と多くの新入生が入部してくれました。また、北雄杯や初ジャン、各部門の合宿も行っており、日々体力向上、技術向上に励んでおります。今年度からは陸上競技場での陸上トレーニングも行っており、より充実した練習になっていると感じています。部門内の朝練はもちろんのこと、昨年度に引き続き週1回の全体練習を行い、部門間での交流も盛んに行えるよう活動しています。

昨年度の活動については、九大戦、国体予選、インカレ、全国公等の多くの大会に出場し、先輩方の活躍により九大戦総合優勝など良い成績を収めることが出来ました。また下級生も実践を通してたくさん経験が積むことが出来ました。大会を通して他大学のレベルを知った上で今年度新たなシーズンを迎えることが出来ており、多くの部員が高いモチベーションを持って練習に取り組んでいると感じています。

また、ありがたいことに今年度から複数の企業が協賛についてくださり、金銭的な支援を行っていただける予定です。より部員が競技に集中できる、恵まれた環境にあることに感謝し活動していきます。今年度からはいよいよコロナに縛られない活動ができ、各々が目標に向かって精一杯頑張って参りますので引き続きご支援、応援のほどよろしくお願いいたします。

主将として

主将 村上 大空

今年度主将を務めさせていただきます。村上大空と申します。スキー部に入学してから早くも2年がたち、1年生、2年生、そして3年生の自分が見るスキー部の景色というものが変化して行っています。ただ競技を楽しんだり、苦しんだりして自分の為に部活していた1、2年目から幹部という役職を持つ3年目になり、自分のことだけで無く後輩が競技に打ち込んでもらうために部活を運営していくことの大変さを感じています。

主将という立場となり、改めてスキー部というものの特殊さと難しさを感じます。私は高校時代に野球部に所属しており、他の部活に比べてハードな練習と勉強の両立に苦労したのですが、大学のスキー部は他の部活と比べて両立しなければいけないことが圧倒的に多いと感じています。勉強や、バイト、就活等の私生活は勿論、部全体の活動と部門別の活動といった練習内容まで考えるべきことが多いです。それはスキー部が経験者から未経験者、運動部出身者から文化部出身者まで様々な部員で構成されており、さらに3つの別々の種目を行っているからです。正直、各部門別々の部活としてあった方が楽で強くなりやすいのではないかと思うこともあり、実際そういった時期も何度かありました。しかし同時にもしそれぞれが別々の部活だったら自分が競技に出会えていないかかったことはもちろんのこと、ここまで競技を続けられて無かったと感じる為、なんとか3部門で1つのスキー部の形を作りたいです。

ありがたいことに今年も多くの新入部員を迎えることが出来、年々部員が増える中で、より部門間の交流も増えていきます。部員が仲良くなり、練習が楽しくなる。これは素晴らしいことですが同時に、仲がよくて楽しいだけではサークルと変わらないのでは無いかと思うことが多いとなりました。仲が良い中にも礼儀があり、互いの競技に対してリスペクトがあり、負けたくないというライバル心がある。楽しい練習の中にも厳しさがあり、めりはりがあるのが部活だと思います。そして今年度のスキー部に足りていないことだと思います。色々な価値観を持つた部員で構成されるスキー部ですが、一人も欠けることなく楽しさも苦しさも共有し、支え合える部活にしていきたいです。

今年度のスキー部全体の目標は「九大戦総合優勝」「インカレ男子総合5位、女子総合1位」です。去年の九大戦総合優勝、インカレ男子総合12位、女子総合5位という結果を踏まえ、現状のメンバーが1年間で成長したときに達成可能な目標として設定しました。個人競技のスキーですが、同時に一人では競技が出来ないのもスキーだと思います。一人一人が個人目標を立てた上で、その目標を達成するために互いに協力、競争し、最終的に全体の目標達成につなげていきます。部員一同精一杯取り組んでいきますので、どうか今年度もよろしくお願いたします。

アルペンチーフとして

アルペンチーフ 山田 唯人

今年度アルペンチーフを務めることとなりました山田唯人と申します。入部して2年が経過しましたが、ようやくコロナ禍も明け、大会や練習が満足にできる様になってきた状況で、満足に部活が出来て喜ばしい限りです。ただコロナ前にやっていた行事がコロナ禍でほとんど無くなってしまい、また1から自分達で行事や伝統を作っていくかなければならないことに不安も抱いています。

今年度自分がアルペンチーフとして掲げる目標は、「勝てるアルペンにする」という事です。今まで部内のアルペンは、「経験者が多いから勝てなくてもしょうがない」や、「未経験から始めても九大戦でポイントすらとれない」というイメージが合ったと思います。また、他の部門からみて、アルペンが一番楽な部門というイメージがつけられていました。自分は今回幹部として、その雰囲気を変えたいと考えています。去年までの夏練では、チーフが来たときにそのときの気分で練習内容などを決めていたと感じていました。そのため、オフシーズン通して時期ごとの練習や効果がある練習が出来ていなかったのも、成長幅が少なく、またスキーの陸上で身につけるべき基礎が身につけていないという状態となっていました。また、下級生の部員がトレーニングの深い意味を理解できておらず、トレーニング効果も薄くなってしまっていました。そのため今年度は、月ごとにトレーニングメニューを決め、その全体的なトレーニングの意図を一緒に乗せる方法でトレーニングを進めて行きます。また、夏のうちからポジショントレーニングを実施し、雪上ですぐ実践に移せるような意味の深いトレーニングを実施していくと考えています。また雪上練習では、ポール練だけでなく基礎練を大事にし、いきなり下級生にポールをくぐらせるのではなく、しっかりと基礎から積み上げてもらうことで、将来ポイントを確実に獲得できるように選手に育てていこうと考えています。

また、アルペン部門全体としては、将来ふと振り返ったときに東北大スキー部アルペンで良かったな、と思ってもらえる部門にしたいと考えています。そのためにも、礼儀などをしっかりし、他の人や自分に何かをしてくれた人に対しては恩を感じてそれを返すことができる人が集まっている部門にしたいと考えています。そのためにも、この部門で沢山失敗し、様々な事を学んでいって欲しいです。

ここまで、今年度のアルペンチーフとしての抱負を書いて参りましたが、今後ともアルペン部門、スキー部の目標達成に向けて邁進して参りますので、応援のほど、よろしくお願い致します。

ランナーチーフとして

ランナーチーフ 山西 友貴

ランナー3年の山西です。今年度のランナーチーフを務めさせて頂きます。まず、今年度のチームとしての目標成績は九大戦やインカレのリレーで昨年以上の成績を残すことです。昨年度、九大戦のリレーでは男子3位女子1位、インカレのリレーでは男女共に3位という好成績を残すことができました。今年度は九大戦で男女共に1位、インカレでは表彰台に上がることを目標に練習に励みたいと考えております。そのために今年度は昨年度あまり取り入れなかった筋力トレーニングを取り入れたり、長町でのローラー練習だけでなく泉ヶ岳や鹿角でのローラー練習の回数を増やしたりしています。また、ローラー練習もただ長距離を滑る練習ではなく、インターバル系のメニューやダッシュ系のメニューも多く取り入れて、レース終盤のしんどいときに出力をあげられるような練習をしていきたいと考えています。部員全員がチームとしての目標と各々で決めた目標を達成できるように、ランナーチーフとして尽力していきます。

また、チームの雰囲気作りに関してもランナー部門がまとまりのあるチームだと思われるような、チームとしての行動を心掛けていきたいと考えております。嬉しいことに、スキー部は私たちが下級生であった時に比べて規模が大きな団体となりました。今年度ランナーチームは10人を軽く超えそうな団体になっています。個人として活動しているのではなく、東北大学学友会スキー部の一員として活動していることを部員全体に自覚させ、この部活を様々な形で支えてくださっている方々に感謝を忘れず活動していきたいと考えております。

最後になりますが、クロスカントリイは正直しんどいことも多い競技だと思えます。しかし、ゴールしたときや上手く登りを登れた時の達成感や爽快感は何物にも変え難いものがあると思えますし、私はその感覚が好きで、クロスカントリイを続けて参りました。ランナー部門に所属してくれた部員全員が「クロスカントリイをやっていてよかった」、「ランナー選んでよかった」と思ってくれるような部門にできるよう、日々の練習を頑張っていこうと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

コンバインドチーフとして

コンバインドチーフ 永島 史帆

本年度、コンバインドチーフを務めさせていただくこととなります。永島史帆と申します。よろしくお願いいたします。

この場をお借りして、本年度コンバインド部門のチーフとして行っていきたいことについて二点述べさせていただきます。

まずコンバインド部門チーフとして、可能な限り練習の質を上げること尽力する所存です。瞬発的な力の発揮を求められるジャンプと、持久力を求められるクロスカントリーの二種類を同時並行で上達させていくことは、限られた時間の中で非常に困難です。しかしメンバー全員が一つ一つのメニューの意義を理解し、常に頭を使って練習することができると、競技力向上を効率化させることに繋がるに違いありません。本年度から始めた具体的な取り組みとして、コンバインド部門のメンバーが白馬のスポーツチームEurosに加入し、練習のサポートをしていただいております。またジャンプ台以外の場所でのジャンプトレーニングを充実させるため、メニューの刷新も行っている最中です。メンバーが納得して練習できるよう、自らより良い練習環境を求める姿勢を忘れずに、練習の質の向上に励んでいく所存です。

次に、メンバーに向上心と競技を心から楽しむ心を持ってもらうことです。コンバインドは競技の特性上、いかに夏に充実したトレーニングを積むことができるかが上達の鍵となります。合宿も多く、その中で技術的に伸び悩む時期にモチベーションを常に100%に保つことはなかなか難しいかもしれません。しかし忍耐力と競技力があれば間違えなく打ち込む価値のある競技であると確信しています。練習の質を求めらるうえで精神的にも身体的にも辛いこともあるかと思いますが、向上心と競技を楽しむ心があれば皆で乗り越えられるはずですし、乗り越えなければなりません。私はチーフとして、コンバインド部門全員で高みを目指したいと考えています。コンバインドという競技に心から真剣に向き合い、楽しむ集団になることができますよう尽力いたします。

最後になりましたが、私たちの日々の練習環境は様々な方々のお力添えの上に成り立っています。このことを肝に銘じ、常に支えてくださる方がいることに感謝の気持ちを忘れず、メンバー一同努力を続ける所存です。本年度も変わらぬ応援のほどよろしくお願いいたします。

自己紹介とおすすめのドラマ

飯田 健人

はじめまして。工学部材料科学総合学科の飯田健人です。まずは簡単な自己紹介をさせていただきたいと思います。出身は千葉県で、市立千葉という高校に通った後に、1年間の浪人生活を経て東北大学に入学しました。千葉県出身だと言うとかなりの確率で、「デイズニーにはよく行っていたの？」と質問されるのですが、自分が最後にデイズニーに行ったのは中学生のときの卒業デイズニーなので、むしろ他県出身の方がデイズニーによく行っているぐらいかもしれません。また、自分は小学生のときには水泳を、中学生のときには卓球を、高校生のときにはバドミントンを、といった感じです。とスポーツを続けてはいましたが、浪人していた1年間一切運動をしない生活を送っていたために体力の自信はありません。自己紹介の最後に、スキー部として活動するにあたっての目標は、大きな怪我をすることなく次の春を迎えることです。とはいえ、これを書いている6月末の現在、足首の捻挫と膝の打撲で苦しんでいるのですが、これより大きな怪我がないように健康第一で頑張っていきたいと思います。

さて、自己紹介はこのへんにしておいて、今回は私が最も好きなドラマである「アンナチュラル」という作品をおすすめさせていただきたいと思います。あらすじとしては、UDIラボ（不自然死究明研究所）で執刀医として働く法医解剖医の三澄ミコト（石原さとみ）が、

遺体の解剖から死因を特定する法医学を通して、ベテラン法医解剖医の中堂系（井浦新）、臨床検査技師の東海林夕子（市川実日子）、記録員の久部六郎（窪田正孝）、所長の神倉保夫（松重豊）らUDIラボのメンバーと一緒にいろいろな事件の謎を解明していくという話です。事件が解決に向かっていくときの疾走感と残された側を思うと胸に残るもやもやした気持ち、登場人物が事件に巻き込まれるときの緊張感などがあり、一切目を離すことができないのですが、特に私は、回を追うごとに明らかになっていく、中堂の抱える秘密や人間性に惹かれました。ちなみに、私の一番好きな俳優さんは、この作品で久部六郎役を演じている窪田正孝さんで、その役を生きているかのような高い演技力、特にどこか闇を抱えている人物を演じているときの雰囲気がとても魅力的です。また、このドラマの主題歌は、米津玄師さんの代表曲でもある「Lemon」で、自分はアンナチュラルを見る前から、この曲を朝の目覚ましに設定するぐらい好きだったので、このドラマを見ることで、この曲に対する理解が深まり、もっと好きになりました。アンナチュラルは現在、アマゾンプライムビデオなどで配信されているので、内容も主題歌も素晴らしいこの作品をぜひとも見ていただきたいなと思います。

浪人

猪川 隼人

はじめまして、今年、東北大学スキー部に入部することになりま

した、経済学部一年の猪川椋人です。この漢字で、いかわりようと、と読みます。手短ではありませんが、自己紹介をさせていただけようと思います。出身は大阪府四條畷市です。再びですが、この漢字で、しじょうなわて、と読みます。初見では確実に読めません。また「條」を「条」と間違える事も多いので、気を付けてください。中高一貫校出身で、清風南海に通っていました。中学は陸上部の砲丸、高校ではタツチラグビー部に所属していました。趣味は音楽を聴くことで、BUMP OF CHICKEN や、サカナクション、Mr. Children などが好きです。最近では、インストバンドに少しハマっており、SPECIAL OTHERS や、toconoma などをよく聴いています。おすすめのアーティストがいれば、ぜひ教えていただきたいです。

今年のスキー部の一年男子は、浪人率が高く、かくいう私も、浪人を経験した者の一人ですので、ここでは、私の浪人期について話したいと思います。私は、現役時代を遊んで過ごした為、無事浪人する事となり、二条城の隣に位置する、駿台京都校に通うことになりました。もちろん、大阪にも数多の予備校はありましたが、実際、私の同級生で浪人する人の九割以上が大阪で浪人しました。しかし、私は、友達がいると、勉強せずに話し込んでしまうので、誰も友達がいらないであろう京都で浪人することにしました。

駿台京都校は、関西の駿台で大阪校に次ぐ、二番目の大きさで、京都の景観を損ねないように、瓦屋根の、予備校らしくない校舎でした。最寄りの二条城前駅から予備校まで、二条城のそばを歩いて通うのですが、毎日、楽しそうな修学旅行生や外国人観光客を見るた

びに、少しやりきれない思いがしていたのは良い思い出です。修学旅行生が駿台の前で記念撮影をしていたのを見たり、外国人に写真撮るよう頼まれたり、観光バスから手を振られたりなど、浪人生の心には刺さる出来事も時々ありました。ですが京都ならではの街並みを見ながら帰ったり、雪景色の二条城を見たり、二条城の周りを走るランナーに感化されて、駅まで走ってみたり、楽しい事も多かったのも事実です。また、京都は大学が多いこともあって、学生の街で、かなりハイレベルなラーメン激戦区でもありました。授業の帰りに一人で食べる、個人店のラーメンが、非常に美味しく、私の心の唯一の癒しでした。

浪人が終わった今になって、京都での浪人生活は実際、一番良い選択だったのではないかと思います。今の高校生に、決して浪人を勧めたくはありませんが、生活の道を間違えなければ、実は浪人は割と楽しいものだったりするかもしれません。私は浪人で、少しばかり人生に深みが出た気がしています。

自己紹介

岡野 祐也

この度スキー部に入部した岡野祐也です。学部学科は工学部電気情報理工学科で、よく略して情物と呼ばれるところです。個人的にこの略し方はあまり好ましくなく、もう少し格好よくできなかつたのかと文句を言いたいところなのですが、大学内では広く浸透し

ているようなので僕も甘んじて情物と呼称しています。

名前といえば、僕の下の名前の「祐也」についてなのですが、漢字が似ているせいなのか「裕也」だと勘違いされることがあります。これにまつわるエピソードとして、僕は小学校の時に空手をやっていましたのですが、一番下の白帯からその次のオレンジ帯に上がる試験の前に師範からもらった激励の手紙で、そこに書かれていた僕の名前が全て間違っていたというものがありません。今では間違えられたところで特に気にすることはありませんし、そのエピソードも今ではただの笑い話なのですが、当時はそれなりに落ち込んだ記憶があります。

空手をやっていたと言うと運動ができそうに聞こえるかもしれませんが、実際にはその真逆です。空手は元々運動不足で太っていたために始めたもので、それ以降はさらに太り具合が加速しました。だからといって体型にコンプレックスを持っているわけではありませんが、高校卒業前に体重が110 kgまで上がった時にはさすがに危険感を感じました。

運動の中でも特に走るのが苦手で、体育の授業やマラソン大会などで長距離を走らされて、途中で歩かずに完走できたことは数えるほどしかありません。ここまで読むとじゃあなんで運動部に入ったんだと疑問に思うかもしれませんが、スポーツ自体は嫌いではないのです。ただ単に走るだけなのは例外として、一定のルールの中で競い合うのは純粋に楽しく感じます。

スキー部に入った理由は雪に関係するスポーツをやるいい機会だ

と思ったからです。僕の出身は埼玉県なのですが、雪が積もるようなことはほとんどなく、当然スキーなどはできない場所です。しかし大学に入る関係で東北の地にやってきたことで、それができる環境に身を置くことになりました。似たような系統のスノーボードについても考えたのですが、こちらは自分の肌には合わないそうだったので選択肢の中から除外しました。

現在はローラーを用いて擬似的に滑る練習をして、まだ遅いスピードでゆっくり滑るのが精一杯ですが、いつかは先輩方みたいに華麗に滑れるようになるように努力していきたいと思っています。

自己紹介

尾白 梓

はじめまして、農学部一年の尾白梓です。自己紹介をしたいと思います。

二〇〇五年二月十一日に埼玉県の和光市で生まれ、小学校は地元の公立小学校、中高はさいたま市内の中高一貫校に通っていました。小学校六年生で中学受験をして入学しました。小五の夏に入塾した時は、偏差値が三十七だったので、偏差値が何を意味しているのかもよくわかっていなかったのですが、能天気勉強を続けていました。結果的に合格できたのでよかったです。高校受験がなかったことやコロナの影響もあり、気づいたら高校に入学してしまいました。中学からメンバーが全く変わらないので、より仲が深まり、も

うまでもなくスキー部の先輩、同期。ここではスキー部について特筆しようかと思えます。スキー部の雰囲気って最高なんですよね。なんていうかほんわかしていて、先輩たちみんなが仲良さそうで本当に家族を見てみたいんです。先輩たちみんな優しく、それでローラーがめっちゃめっちゃ早かったりミディアムとかポンポン飛べちゃうんですからかっこよすぎますね。

同期と知り合ってまだ2カ月しかたっていませんがもうすでにみんなのことが好きです笑。

まず、皆いい人です。前、これを友達に言ったとき「お前が言ういい人はあんまあてにならない。」と言われてました。なんでそんなことを言われたのかわかりませんし、本当にいい人ばかりなのです。全員のいいところひとつ挙げることが出来るぐらいには好きです。たとえ部門が違っていてもみんな仲良くいたいものです。同期がいるのも部活を頑張れるモチベーションですからね。なんか一種の惚気みたいになりましたがこれはこれでいいんじゃないでしょうか。まだまだ入部したばかりで、しかも一年の中で部門が一番揺れ動いている自分ですがいい成績を残せるようにこれからも精進したいと思います。

ユートピアに飛ばされてしまったようです

齊藤 雅也

こんにちは。今年東北大学学友会スキー部に入部しました法学部

一年齊藤雅也です。最初はまず簡単に自己紹介をしようと思いません。出身は東京都で、出身高校は成蹊高校です。安倍晋三元総理大臣の出身校として知っている方もいるかもしれません。自分は中学の時は、小学生の頃から続いていた野球がしたいと思い、野球部に入っていました。高校では、なぜかよくわかりませんがスキー部に入り、三年間クロスカントリースキーのフリー種目の選手として活動していました。一応はインターハイにも二度出場させていただきました。雪国の洗礼を浴びました。

ここからは自由に何か書いていこうと思います。最初はスキーについて書くかと思ったのですが、なんとなく仙台について書きたくなりました。正直いって自分が今仙台にいることはあまり信じられていません。なんで友人たちは東京にいるのに、自分は仙台にいるのかは謎の一つとして毎日付き纏っています。しかし別に嫌という話ではありません。こんなにも自由に、新天地で生活できていることが夢のように感じるということかもしれません。それは置いておきましょう。さて、それにしても仙台という街は面白いところだと思いませんか。さても、ちよつと自転車走らせれば周りは東北新幹線の駅間の風景のように何もなくなります。街が小さいみたいです。東京に比べると、奥多摩くらいまで行かないと見ることが厳しい風景を気軽に見ることが出来ます。これは仙台の一般的に良いところでしょうか。自分は北海道をのぞいて、人と建物がたくさんある方がなんとなく落ち着きます。北海道に関しては、秘境を訪ねるのがとても楽しいです。

最近思うのは、自分の住んでいるところの横で土曜も工事をし続け、週に六日は仕事の音がうるさいのはどうにかならんのかということ。これは死活問題です。車が走っている音などは快く受け入れるのですが、物体と物体がぶつかり合う音はあまり好きではありません。しかしそこに住んでいるからこそ、最近はスーパードーナツ、市場に食材を買いに行くことができている。レストランのシェフのように市場を往復し、欲しいものを選定する作業を週一回しています。野菜や肉はその辺に落ちていたものを拾ったのではないかというくらいの梱包具合で、新鮮そうな見た目に惹かれます。ぜひ行ってみてください。

こうして文章を書いてみると、自分が仙台になぜいるかわからない人が、スキー部に入ったということしかわからないですが、自分のこれまでの生活を振り返る良い機会になりました。また連載できたら嬉しいです。

小樽の魅力

品川 咲季

はじめまして。理学部生物系一年の品川咲季です。北海道の小樽市出身で、札幌東高校に通っていました。中高では吹奏楽部でクラリネットを吹いていました。この通り、初めての運動部ですがとても楽しんでいます。これからシーズンに向けて練習頑張ります！さて、残り私の出身地である小樽の魅力について紹介したいと

思います。

1. 食べ物が美味しい

小樽には美味しい食べ物がいっぱいあります。お寿司をはじめとした海鮮料理が有名ですが、中でも私がおすすめるのは、あんかけ焼きそばです。このイメージがある方はあまりいないと思うのですが、実はあんかけ焼きそばは長く愛されてきた小樽市民のソウルフードです。小樽あんかけ焼きそば親衛隊もあるほどです。地元の学校やお祭りでするまっすぐくれるのですが、小樽あんかけ焼きそばを超えるあんかけ焼きそばはないと言い切れるくらい美味しいです。他の地域では絶対に味わうことのできない、やみつきになる小樽あんかけ焼きそばをぜひ食べてみてください。

2. お祭りが多い

夏の小樽はお祭りだらけです。6月中旬から7月の終わりまで毎週のように小樽のどこかしらでお祭りをやっているのです。毎年夏になると、小樽市民はお祭りの季節がやってきたととても喜びます。特に、潮祭りは規模がとて大きく、花火大会や潮ねりこみ（潮おんどを踊りながら町をねり歩くというものです）というイベントもあつておすすめです。

3. スキーがさかん

小樽では全ての小・中学校で体育の時間にスキー学習をやるほど、スキーが身近なスポーツです。私自身も、家から車で5分の場所に天狗山スキー場があって、小さい頃からスキーを楽しんでいました。今日滑りたい気分だと思ったら気軽に行けるので、とても良い環

境だと実感しています。コースも面白いものが多いです。例えば、年に2、3回開くかどうかで、最大斜度が45度のダイナミックコースという所があります。なかなかのスリルですが、とても楽しいです。スキー部ではアルペンが小樽に合宿で行くということだったので、時間があればぜひ天狗山にも足を運んでみてください。

自己紹介&ジュニアあるある

鈴木 さくら

SPUR 読者の皆さんこんにちは、工学部電気情報物理工学科一年、鈴木さくらです。長野県出身で、物心着く前にはスキー場に行きました。アルペンは五歳から始めたので、次のシーズンでアルペン十五シーズン目になります。ずっと、アルペンメインだけど基礎スキーもそれなりにやるジュニアスキーチームに所属していました。なので基礎スキーも両立していてクラウンプライズをもっています。新入部員の中でアルペンのジュニア出身者が私だけなので、今回は私が感じる「ジュニアあるある」を紹介します。(アルペン界隈ではジュニアレーサーとジュニアスキーチームの両方をジュニアと呼びます。紛らわしいですね。)

一、片足大好き

ジュニアは片方の板を履かずに片足だけでスキーをする、通称「片足」が大好きです。なぜジュニアが片足好きなのかは謎です

が、どんなにやる気がない小学校低学年ジュニアでも、片足の「か」の字が出た瞬間に喜んで片足に行くこと間違いなしです。

二、休憩時間の方が元氣

ジュニアの練習を優しいコーチかヘビースモーカーのコーチが担当する場合、練習中に休憩の時間を入れてくれます。しかし、ジュニアにとってこの時間は休憩の時間と書いて雪合戦の時間と読み、学年、男女関係なく本気の雪合戦が始まり、徐々に激しくなってきます。雪合戦と聞いて皆さんが想像する雪玉の十倍はでかい雪のかたまりを相手の背中に落としたり、雪かきでその辺の雪を相手に飛ばしたり、恨みでもあるのかと思うほどファンキーな雪合戦が繰り広げられる場合もあります。

三、よく怒られる

上記のジュニアあるあるを読んできた読者の皆さんは薄々勘づいているかもしれませんが、アルペンをやっているジュニアは元気が有り余っていて怖いもの知らずなところがあります。(ごくわずか、優しく落ちて着いている子もいます。私みたいです。)そのため、リフトの上で雪合戦をする(たまにリフトから落ちる)、激混みのスキー場を直滑降して周りをびびらせる、などの問題を度々発生させ、コーチ、リフトのおじちゃん、お客さんなど、様々な人に怒鳴られることがよくあります。それでも、十秒後には怒られたことを忘れ、ケロッとしている点もジュニアあるあるかもしれません。

ここまで、ジュニアあるあるを紹介してきましたが今の自分もジュニアと大差ないことに気づいて、なんとも言えない気分になってしまったところで終わらせていただきます。よろしくお願ひします。

自己紹介

高田 光太郎

初めまして。経済学部一年の高田光太郎(たかだこうたろう)です。群馬県出身で中高では吹奏楽で打楽器をやっていました。スキー自体は小学生の頃、年に1回くらい家族で滑りに行っていたくらいなのでほとんど初心者です。いろんな人にどうしてスキー部に入ったのか聞かれるんですけど、せっかく雪の降る地域に来たのと、ずっと文化部だったので運動部に入りたいて思っていたからというのが主な理由です。初めての運動部で筋トレやランニングがめちゃめちゃきついですけど頑張っています。

中高と吹奏楽部に入っていたこともあって趣味は音楽です。音楽は聴くのも演奏するのどちらも好きでどちらかというところ6:4で聴く方が好きです。クラシックでいうとG.ガーシュインやP.リードが好きです。ぜひ聞いてみてください。ってクラシック曲を勧めて実際に聴いている人を見たことないのでちょっと気軽に聴けるアーティストを紹介しようと思います。「ずっと真夜中でいいのに。」(通称ずとまよ)。僕が今一番好きなアーティストです。最初に知ったの

は3年くらい前で、そこからずっと聞いています。特に受験期は勉強ばっかだったのでずとまよが心の支えになっていました。Apple Musicだと一年でどのくらい聞いたのかわかるのですが、確認したら去年は330時間も聞いていました笑。特に好きな曲は「残機」と「正義」です。どっちも歌も演奏隊もめちゃカッコいい曲なのでぜひ聞いてみてください！

もちろん演奏するのも好きで実は軽音部にも所属しています。軽音ではドラムをやっていて最近ベースを始めました。うちのバンドのベーシストは高校時代ドラムもやっていたそうなので早くうまくなって演奏会中に交換とかもしてみたいです。自分の中で目標にしていることが一つあって自分一人でボーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボード、全部の楽器をできるようにすることです。とりあえずドラムはもうできるのであと4つです笑。人生でいつかできるようになればいいかなってくらいの軽い気持ちなので、かなり先のことになるかもしれないですけど。大学生のうちにあと2つくらいはできるようにしたいです。

スキー部と軽音のどっちも楽しいのでどっちも全力で両立を目指していきたいです。もちろん勉強も頑張りたいです。最後まで拙い文章を読んでいただきありがとうございます。

自己紹介

滝沢 周大

はじめまして。理学部物理系1年の滝沢周大(たきざわしゅうた)です。高確率で「しゅうだい」と呼ばれますが、正しくは「しゅうた」ですので、この機会に覚えていただけると幸いです。なぜこう読むのかは、謎です。ここから自己紹介させていただきます。

私の出身地は新潟県のだいたい真ん中の、燕市です。仙台→白馬の移動の途中で北陸道三条燕(つ)を通過しますが、そのあたりです。(つ)の名前からわかるとおり、お隣に三条市という所があります。燕と三条は昔から商業に関していさかきがあり、仲が悪いとされてきました。新幹線と高速道路を両市に通ずるときは、駅名や(つ)名を決めるために激しい論争が起こったようです。そんな論争の成れの果てとして、燕三条駅は三条市に、三条燕(つ)は燕市に所在するという混乱を招く事実が存在します。ちなみに私は仲が悪いなど実感したことはないです。ところで、知り合いに燕市に遊びにきてもらうときは非常に困ります。観光名所が一切ないからです。るるぶで観光名所を検索すると、第一位に市民プールが出てきて市民は悲しみます。しかし食べ物美味しいです。新潟5大ラーメンの一角に燕三条背脂ラーメンというものがありません。私はこれが大好物です。分厚い油で覆われていて好き嫌いは分かれますが、二郎系が好きな人は機会があれば挑戦してみてください。

続いて、私のスポーツ歴について書きます。私は小学5年生の時に陸上(長距離)を始めました。球技が微塵もできない私は、当然のように中学校でも陸上を続けました。パワハラ、セクハラを当然のように行う、社会的に終了した顧問に毎日罵倒されながらもめげず

に続けました。持久力と忍耐力だけを鍛え抜いた結果、競技人生で一番の結果を出すことができませんでした。とてもいい仲間にも恵まれて、なんだかんだこの時代は人生の宝物です。その後、県立新潟高校に進学しました。ここでも迷わず陸上部に入るわけですが、1年の夏に筋肉を痛めてしまいました。そのまま怪我を引きずってしまい成績が低迷しました。初めて走ることに挫折を味わったことで、陸上に対し今までは異なった接し方をすることができました。メニューの意味を考えたり、ストレッチを真面目に行ったりするなど、頭と身体を総動員するようになりました。こうして、中高で成功と失敗を味わえて、辛いこともありましたが、人生の糧となった気がしてよかったです。そしてせっかくこの東北大学でスキー部に入ったわけなので、この経験も人生の糧とできるように一生懸命頑張りたいと思います。これからよろしくお願いいたします。

自己紹介

谷口 聖実

こんにちは。この度スキー部に入部しました、工学部機械知能・航空工学科の谷口聖実です。出身は北海道の旭川市の近くの当麻町という田舎町で、スポーツは小学三年生から中学までクロスカントリースキー、小学でトランポリン、中学で夏の間のみバスケットボール、陸上で中長距離をやっていました。小さいころから体を動かすのが好きだったのと、若干飽き性なところがあったので、いろいろなス

ポーツを経験してきました。一浪をして東北大に入ったので現在体力に自信はありませんが、日々トレーニングを頑張ります！ここからは、スキーにまつわる事として、私のクロカンをやっていた頃について語らせていただこうと思います。

私がクロカンを始めたきっかけは姉がやっていたことです。冬に寒い中練習するのは大変そうだと思ったのですが、姉が少年団のお楽しみ会的な行事でお菓子をもらっていたのがうらやましくて、それにつられた記憶があります。少年団に入ってみると、細くて軽いスキーで滑る感覚が楽しくて、クロカンが大好きになりました。始めてすぐは上達も速いので、近隣の町の大会に出るたびに順位が上がっていくのがとてもワクワクしました。中学校に入ると、部活としてクロカン部はあったものの、環境や指導者に恵まれていたわけではなかったのです。夏の間はそれぞれの部活に入って体力づくりをする形でクロカンを続けました。私は、中学では全国大会出場を目標に掲げたので、一番夏の練習がつらいと噂のバスケットを選びました。本当につらかったです。バスケットは、ミニバスからやっていた人たちの中に飛び込んでいったので、試合にはあまり出られませんでした。夏に夏の練習はとも良い体力づくりになりました。週末は大会や練習試合があることが多く私はあまり出られなかったのです、少しでも体を動かそうと思いい、疲れる(歩く)と顧問に怒られる(ため)という理由で誰もやりたがらないコート整備のモップを買って出て、全力でコートにモップをかけていた自分をほめてあげたいです。その甲斐あってか、クロカンでは中一のときにクラシカルで全中に出

場することができました。この時のうれしさは今までの人生でトップを争うほど大きいものでした。しかし、二年の時には出場は叶わず、先輩方が引退してしまいました。私には同学年の部員も後輩もいなかったのです、三年のときは部員が一人となり、さらに貧血にもなりとても孤独でつらいラスト一年となってしまいました。引退する時にはもうクロカンなんてやらないと心に決めたはずだったので、東北大でスキー部の存在を知ったときにもう一度やりたいと思えたので、入部を決めました。今は一緒に練習を頑張る仲間が存在をありがたく感じながら、楽しく活動しています。クロカンには大切な思い出が詰まっていますが、さらに積み重ねていけるよう、大学でも頑張ります！

自己紹介

安村 悠希

こんにちは。一年の安村悠希です。理学部物理科に所属しています。山口県の山口高校出身です。中学校まではテニスをしていて、高校では、科学生物部に所属していました。趣味はプロのテニスのハイライトを見ること、スポーツをすること、いろいろなことを考えることです。好きなミュージシャンは、山下達郎、Bee Geesなどありません。山口県出身ということで、スキー経験は全くありません。そのなかでなぜスキー部に入ろうと思ったのかの経緯を書きたいと

思います。

私は様々なスポーツに興味があり、テニス、野球などなどの有名なスポーツを見ていたと同時に、カーリングやノルディックコンバインドなどのウィンタースポーツにも興味がありました。冬になると、BSでカーリングの世界選手権が放送されるのを見たりしていて、高校の友達からも私のウィンタースポーツ好きは知られていました。しかし、僕は山口県の南側に住んでいて、スキー場など近くにないし、親もそんなに乗り気でなかったことから、ウィンタースポーツを実際にはすることはなく、いつかやってみたいという思いが募っていました。その中でスキーをしたいと決定づけた出来事がありました。

受験勉強真最中に開催された北京オリンピック、勉強の休憩としてみた、ノルディックコンバインドの男子団体戦(4人制)は、日本、ドイツ、オーストリア、ノルウェーがスタートの状態で、僅差で、完全にラン勝負でした。第三走でノルウェーが抜け出し、ドイツが少し遅れましたが、走力のある第四走のドイツの選手が日本とオーストリアの選手にすぐに追いつき、第五位とのタイム差がすっかり離れていたのです。銀、銅メダルをめぐって、激しい牽制が始まりました。山で急にある選手がスピードを上げたり、誰も前に行きたがらなかつたりする中で、最後はスプリント勝負となり、日本は銅メダルを取りました。ヨーロッパ諸国と単純な走力勝負でメダルを獲得したこと、駆け引きの激しくとも面白いレース展開に私は興奮しました。もし自分がスキーをできる環境にあるならば、絶対にや

ってみたいと思いました。

私はその一年後、紆余曲折の末、東北大学に入学しました。スキー部の雰囲気は私にとってもあっていたので入部することに決めました。オリンピックのレースのような面白いものではなく、技術や体力が必要とされる結構つらい競技だとはわかってはいますが、いつか駆け引きの中で、活躍できることができる日を夢見て、頑張っていこうと思います。

私の個人主義

今井 敬裕

「つれづれなるままに、日くらし硯にむかひて、心にうつりゆくよしなし事を、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。」の書き出しで始まる徒然草を思い出しながら、去年SPUR 原稿を書いた時とは打って変わって状況が変わっていることを想起する。

特段書くこともないので最近思うことをつらつらと吉田兼好に倣って書こう。大学生になって思うのは、まあー大人ってめんどくさいなって思う。高校生までは僕たちは親という偉大な大人に守られていたんだなど。あと、何が面倒くさいって、高校時代までは純粹な気持ちの何か一片を誰しもが持ち合わせている気がするのだが、どうも僕も含めて大学生になると純粹な気持ちの一片を感じる機会が少なくなるというのがまた面倒くさい。僕はそういうところにイデアを感じるから。頑張るといふのはそもそもどういふことなのか。人に評価されるために頑張るのか、自分のために頑張るのか、はたまた別の目的か。別にそんなことはなんでもいいと思うが、とにかく、理由もなしに純粹に頑張るといふことが難しくなってくるのが大人というものなのかもしれないと日々感じている。何かの目的のためにしか物事を行えなくなってくるのではないか。定量的な評価や世間体、わかりやすい数字を追い求めてしまうのが人間だとして、僕はそんなつまらない人間になりたくないと強く思う。

また、最近思うのは、寄りかかれるのはやはり椅子の背もたれだけだということである。クロスカントリーをしてたつて、レース中に応援はあっても、クイックを代わりにしてくれる人はいない。自分の力でゴールに辿り着かないといけないのだ。勉強ひとつとっても、いくら周りの人と協力して勉強したところで、その知識を自己に内面化する場面では1人にならざるを得ないと思う。その意味で、世の中で寄りかかれるのは椅子の背もたれだけだと僕は思う。自分の中にある哲学でさえも生きていたら揺るぐのだ。だから、柔弱謙下生きるしかない。そして、何に寄りかかればいいのか不安になったら、椅子の背もたれに寄りかかろう。そう決めている。

最近心を動かされた言葉に、「その人それぞれに、やっぱ地獄があるとちゃうんですよ。私には私の地獄があるし、あなたにはあなたの人生の地獄があるのだから」という言葉がある。聞いて、ああそうだなと思つた。人には人の乳酸菌だと思つた。ある人の地獄を僕は知ることができない。どれだけ知ろうとしたって僕は本人じゃないから知り得ないし、その地獄を知ろうとすることすら逆に失礼なのではないかと思つてしまう。しかし、人には人の地獄があるのだと認識して生きることはできる。そう認識するからこそ、譲歩したりできるのだらう。譲歩するというのは難しい。少なくとも僕にとつては。意味のわからない文章になりお詫び申し上げたいと思います。本当は、自分の専門である経済学について熱く語ろうと思つたのですが、「自分の専門のことなんて誰も知りたくないから書かない方がいいよねええ」と梓に指摘されたので、辞めときました。

なんやかんやで僕はスキーが大好きです。昨年度スキーの楽しさを知れたのは紛れもなく唯一の3年生の先輩でチーフでもあったほのかさんのおかげだと思います。僕も先輩になり、ああ、先輩というのは大変なものなんだと強く思います。昨年は本当にありがとうございました。

走

加藤 杏菜

こんにちは。ランナー二年の加藤杏菜です。最近改めて自分が陸上競技好きなんだなと思ったので陸上について書こうと思います。走るのって何が楽しいの？きついだけじゃん？と現役の時はよく聞かれていましたが当時の私は何も答えることができませんでした。確かにつらい練習もあったけど今日のメニューやりたくないと思うこともあったけどここまで走り続けてきました。言葉に表せないけど好奇心をくすぐる何かがあるにはあったのだと思います。自分の体と向き合って脳で考えたことを体現させるために練習を積み上げます。仲間とともに限界まで追い込んだ後の解放感はたまらないです。まあ本当の限界じゃないんですけど。

一度陸上を離れてみてやはり走るという行為そのものが好きだったのだと感じました。自分の体だけが武器であり闘う時は自分一人というのがかっこよく、トラックは自分を試せる場だったのだと思います。毎日走り続けて同じことを繰り返していると飽きそうと思

うかもしれない。それが全く飽きることもなく、理想の走りにするためには部活は短すぎるくらいでした。短いからこそいいのかもしれないですね。ある程度速く走れるようになると記録を伸ばすのは一朝一夕ではいきません。それでもある日を境に急に感覚が変わってタイムが上がっていったりします。今まで勝てなかった相手を引き離すことができるようになるのです。この瞬間がたまらなく気持ちいいのです。これを経験してしまっただけならもう離れることはできないかもしれません。たとえ歳を重ねてもその時その時の「瞬間」を感じるために走り続ける人生でありたいです。

ようやくコロナも収まり有観客での大会が戻ってきて先日後輩の大会の応援に行ってきました。半年ほどしか関わっていない〇〇を温かく迎えてくれる後輩たちに感謝するとともに彼らの走りを見て感動して帰ってきました。後輩の活躍はいつになっても嬉しいものです。自分自身も感動を与えられるような滑りができるように努力します。

22 / 23 シーズン、ベスト自炊賞

齋藤 瑛斗

コンバインド2年の齋藤瑛斗です。一人暮らしを始めて自炊もせざるを得なくなったのですが、1年経ってだいぶ慣れたように思います。ここでは、この1年間に作ってきたご飯を振り返っていいこうと思います。☆は5点満点で、外食だとマツタケのポテトとか二郎の

一口目とかが☆5に当たります。

22年3月24日 トマトとツナの Pasta ☆☆☆☆

恐らく初めての自炊。初めての割には彩を意識していて偉いと思う。初めて補正で星は4つ。

5月3日 野菜たっぷりPasta ☆

この時期は基本的にPastaばかり食べていた。Kindle Unlimitedの無料体験期間を利用してPastaの料理本を片っ端からダウンロードしていたと思う。大体の料理本だと暗黙の了解のうちに省略されていることが多くて、料理初心者自分はかなり戸惑った。

6月20日 ステーキ ☆☆☆

一人暮らしを始めてからPastaなど簡素なご飯が多くなった。たまには豪華なモノが食べたい！と思いユニバーシティハウスでステーキと一緒に作った。慣れないことをしたので玉ねぎニンニクは丸焦げ、肉も火にかけすぎてカチカチになってしまった。それでも数か月ぶりの塊牛肉に感動したりもした。

7月12日 冷やし中華 ☆☆☆☆

この時期は冷やし中華にドハマリしていた。1週間に3日くらい冷やし中華を食べていた。具材を予め作り置き出来たのがうれしいポイント。

8月1日 豚丼 ☆☆

高校時代通っていた豚野郎の豚丼が恋しくなり作ってみる。プロの料理はすごいと思った。

8月25日 タコライス ☆☆☆☆

学食でタコライスが期間限定メニューになっていた。注文すると白米の上にこぶし程度のひき肉が乗った何かが出てきて、とても悔しかったので自分で作ることにした。ルーを使ったので作るの簡単、作り置きも楽で味は申し分ない。何より、自分の裁量で具材たっぷり出来るのが最高。

10月4日 そぼろ丼 ☆☆

この時期は自炊がめんどくさくなっていた。料理の事を考えるのがいやになり、そこにリソースを割かないため毎晩同じものを食べようとしていた。そこで選んだのがそぼろ丼だった。作るのが楽で、野菜もとれるし何より美味しいから毎日食べられると思った。結果、5日目くらいで匂いが嫌になり今でもそぼろ丼は作りたくない。

1月6日 サラダチキン ☆☆

圧力鍋を買ったので、サラダチキンを作ってみた。感想としては、まあ普通に焼いた方が美味しいよね。別に悪くはないけどやっぱり熱々の肉が食べたい。

1月19日 無水カレー ☆☆☆☆

圧力鍋の醍醐味、無水カレーを作った。肉ほろほろ、野菜の甘みが出
て破壊的な美味さ。3日目はカレーうどんにできる汎用性も◎。

6月30日 タンドリーチキン ☆☆☆☆

最近作った中でもお気に入りの一つ。これを機にハウス食品のスパ
イスクッキングシリーズにハマる。味はしっかり付くし、作り置き
してもべちょべちょにならないのでお弁当に最適。

主などころをピックアップするとこんな感じですか。振り返ってみ
ると、22 / 23 シーズンのベスト自炊賞はタコライスでした。やっ
ぱり簡単に作れて味が濃いのがいいですね。来年ほどの料理がベ
スト自炊賞を獲得するでしょうか。楽しみにしててください。

1年間の振り返り

澤田 真拓

大学に入学し、スキー部に入って勉強したり部活したりダラダラ
したりしていたらいつの間にか二年生になって後輩ができていまし
た。アルペンにはアルペンって感じの練習が冬にしかできないので、
まだシーズン始めのような気分なんだか不思議です。もう少し上
級生になった自覚を持って部活に取り組みたいです。特に普段は感

覚で生きている自分は自身の感覚やイメージをパッと言語化するこ
とが苦手なので、シーズンインして一年生に技術を教えるときにわ
かりやすく伝えられるように頑張ります。

去年1年間を振り返ると勉強と部活とダラダラの時間配分が2対
3対5くらいだった感じがします。勉強はやるやる詐欺をしてギリ
ギリを攻めていたので、高校時代のように周りの環境を整備して、
もう少しゆとりを持って勉強したいです。4 semester終了時にGPA
3.2以上をとれるように努力する。また、実家からわざわざ持ってきた
本を冬以外に読むことがなかったので、今年はダラダラしていた時
間を少しは読書に充てたい。

部活に関して言えば、GS が少し様になってきたと思っています。
今までは腰が引けていてストリートやフラッシュではやく動けずに
死んでいたところが、今ではストックをつく意識を持つことで腰が
引けずに滑ることができるようになりました。しかし、ターンのタ
イミングが遅かったり足首、膝、股関節をうまく使えていなかった
りと課題は多いので来年は自分の滑りの型を見つけたいです。GSに
関してはラインが真っ直ぐすぎてリスクの高い滑りになっているの
で、もう少し安定して滑れるライン取りをするように心がけます。
また、スキーではないのですが、オフ練での水泳で息継ぎの仕方を
教わりました。小学校でしか水泳の授業がなく、テストでは背泳ぎ
をすることで息継ぎから逃げてきたので、今年も水泳する機会があ
ったらはやく息継ぎをできるようにしてみんなと同じ練習をした
いです。

ダラダラについては中高時代からやっていることはあまり変わらないのですが、基本家でアマプラ、YouTubeを垂れ流しながらゲームをしていました。アマプラではアニメを9割ほど見ていました。ワンピースを一から見始め、アニメオリジナルを含めすべて見終わる頃には夏休みに入っており、今では毎週木曜日に更新されるのを楽しみにしています。最近のワンピースは迫力のある絵柄になり、戦いのシーンでは特に目が離せません。その後はスラムダンクや転スラ、進撃の巨人、ダンまち、ブルーロック、ぼざろ、弱虫ペダル、メイドインアビスなど様々なアニメを見てきました。特に弱虫ペダルの影響は強くロードバイクまで買ってしまいました。個人的には平地はクロスとあまり変わりませんが、坂道はロードの方がはやく登れるような気がします。最近ではジョジョ3部を見ていて、もう少しでロードローラーです。また、ゲームはアプリが主で、冬はにゃんこにはまっています。シーズンの終わりと共に熱は冷め、今はプロスピと雀魂を主にやっています。雀魂はスタミナ制度がなく精神が続く限り無限にできるので、やり過ぎには注意してプレイしたいです。

最後に、秋から葉屋のひとりごとのアニメが始まるので、暇な人は是非見てください！

今シーズンの目標

塩倉 颯瀬

こんにちは、アルペン2年の塩倉颯瀬です。去年はスキーのテクニック面や考え方など多く学べた1年間で、とても充実したシーズンを過ごせました。今年は去年よりも多く知識がある状態で練習できるので、より効果的な練習ができると思うので楽しみです。今のところ自分の課題としては、特にスラロームの方ですが、トップスピードに入るまでが遅いことだと思います。自分からアクションして、正しい力の使い方ができれば、必ずタイムが良くなると思うのでそこを重点的に頑張っていきたいと思います。周り速い人のスピードについていけるような技術を身につけることが今年の目標です。また、去年はヒュッテでの自炊の際に、結構足を引っ張っていた自信があるので今年は名誉挽回していきたいと思っています。

ここからは僕の好きなサッカーについて書きたいと思います。昨シーズンは三笥選手や久保健英選手をはじめ、多くの日本人が海外のリーグで大活躍しました。三笥選手は日本にいたときもリーグでは無双状態でしたが、更にフィジカルなど一層強化されていて、プレミアリーグの相手とも対等に戦っていました。反発ステップによる縦へのドリブルというのも彼の武器ですが、視野を常にドリブル中も確保しているのが、パスの選択肢をもっているのが簡単そうに見えるので、自分もいつか習得したいと思います。三笥選手は走り方も取って工夫しているようで、足をつま先から着いて走るのが一般的ですが、かかとからついて走っているようです。これは本人曰く、フィジカルコンタクトを受けた際の安定性を上げるためだそうです。やはり、サッカーの中でもテクニク以前の身体の使

い方をよく理解してるからこそ、このような活躍があるんだなと思
いました。自分は今まで自分の試合映像の分析などはしてなくて、
ただ自分目線でプレーを改善しようとしていましたが、カメラ視点
で映像を見て、自分の動きを客観的に分析するという当たり前のこ
とができてなかったのだと思います。スキーでは、その反省を活
かして、自分の滑ってる映像を何度も見て一つ一つ課題をクリアで
きるように頑張りたいと思います。

東北大生であることについて

田中 遼真

脳死で自己紹介をすればよかった昨年度とは違い、今年から自由
作文になってしまいました。正直苦手ですし、思想弱めの人なので
駄文になってしまい恐縮ですが、最近の悩みについて書こうと思
います。

昨年度、バイトをしていなかったために多くの人から無職として
あたかも人権がないかのような扱いを受けた私ですが、今年からは居
酒屋バイトを始めました。バ先に対しても少々語りたいことはある
んですが、一端置いておきます。東北大学以外のコミュニティに属
したことで、他大学の人やフリーターの人との接点が増えたわけ
ですが、そんな中で少々嫌なシチュエーションがあります。

相手から「どこ大？」っていう話題を振られた時です。この瞬
間、表情筋に全神経を注ぎます。しかめっ面をして露骨に嫌な態度

はできないですし、まかり間違ってもにやけるわけにはいきません。
ふつうに感じ悪くなります。東北大学は一応東北地方の最高学府と
いう位置づけにあります。しかし、これは誇れるステータスでしょ
うか？私はそうは感じません。東大の場合、「一応、東大です」構
文が使えると思います。少なからず質問を投げかけた相手には東大
に対する畏敬の念があるからです。一方、仙台ですが、この街の学生
たちは人によって勉強へのモチベーションが大きく違うと思います。
ある程度勉強ができる人は東北大に行きますし、中間層は東京や地
方国公立に行きます。専門学校に行っている人も多いです。すな
わち、この街には東北大生以外に学歴厨がいないのです。東北大生
であることはステータスでもなんでもないんです。これを表してい
る表現として「彼氏にするには学院大、結婚するなら東北大、ボディ
ーガードなら福祉大」というものがあります。ようは、なんか半端す
ぎて相手も適当な持ち上げ方しかしてこないから、こちらもてきと
ーな謙遜をするしかなく、なんか気まづくなるわけです。たいてい
の場合、ここから話が盛り上がることはありませんし、わたしは人
から持ち上げられたり、褒められたりするものが苦手です。無関心で
いてほしいです。

こんな感じで、どうやって気まづくならないように返すか日々考
えているわけですが、こないだバ先で先輩のお手本を見ました。ピ
エロを演じるのです。「実は自分凄いですよ。」とあえて鼻もちか
けて言うことにより相手から「うざっ。」というワードを引き出すの
です。ようは自分がいじられる話題にうまくすり替えていくわけで

す。この人の場合、非常に巧みで、相手に言い返させつつも、しっかりと謙遜もはさんでいました。突っ込まさせつつも、イライラさせてはいないんですね。このムーブをできるかどうかは、その人のキャラクターにもよるので皆が使えるわけではありませんが、1つの答えだと思います。拍手したくなりました。

皆さんはどう返していますか?? 良い返し方を知っている人はぜひ教えて下さい。

去年+ α

谷 祥太郎

ご無沙汰しております、コンバインド2年の谷祥太郎です。6月末からなんだかんだで部員文の提出から逃れてきた僕ですが、ついに渡邊梓くんから個人ラインで直々に7月末までに提出するようにお叱りを受けたので、テスト期間真っ只中である7月31日の本日、部員文を書かせていただきます。

昨年度は自分の恋愛観について、ありもしない経験を踏まえてダラダラと語っていましたが、今回はそれに少し補足していきたいと思います。まずは昨年と異なり、喜ばしいことに、女性との絡みがある程度増え、無事彼女を作ることができました。まあそれまでの経緯については昨年の冬を一緒に過ごした2年生以上の部員はなんとなく聞き及んでいると思いますが、興味があったら聞いてください。そしてなんと、誰もが一度は憧れる、恋人と浴衣で花火大会に行く

というシチュエーションを経験することができました!

さて、ここから恋愛観について話そうかと思いますが、やっぱり付き合っていく上で一番大事なものは、安心感なのではないかと思えます。これは相手が今何しているのか逐一聞いてスケジュールを把握したり、位置情報を共有したりするような物質的な安心感ではなく、相手を信頼する気持ちから生まれる精神的な安心感です。これを得るためにはそれ相応の時間と、お互いがお互いのことを思い合う気持ちが必要だと思いますが、こんな関係を目指したいものですね。

また、もう一つ大事なものは、相手をリスペクトする気持ちだと思います。リスペクトする部分はどこでもいいし、その数も何個でもいいと思いますが、これがないと、無意識にどこかで相手を見下してしまったり、偉そうなアドバイスをしてしまったり、相手の話をしっかり聞かなくなったり、対等な関係を築くのは難しくなると思えます。逆にこれがあると、行動や発言に多少なりとも敬意が伴うようになり、良好な関係になるでしょう。

こんな未熟者の僕の話を読んでもくださりありがとうございます。とりあえず、今年中に彼女としたいこととしては、ディズニー、そして寒くなったらドライブで温泉旅行! そのためにスキー部で運転の練習をたくさんして、スムーズかつクールにバック駐車できるようになりたいです。

Dの部員文

西村 大佑

こんにちは、ニシムラDです。二年生にもなり、代替わりし、チームの雰囲気が変わり、そのような大変な時期に面白い新入生もたくさん入ってきて、一気に新鮮味が増して最近はより一層部活が楽しいです。オフシーズンは、ランナーはとことんランニングとローラー練ですね。週3朝練で、朝起きるのが辛くて仕方ないですが、起きて行ってしまえばすぐ充実した一日が過ごせます。(起きれるとは言っていない)

さて、僕は、2セメからソフトボール部を兼部しています。ソフトボール部のシーズンはスキー部と全く逆になっているため、大会がかぶることはありません。暖かいシーズンは、ソフトボールに打ち込み、寒くなったらクロカンを頑張ろうと思っています。ソフトボールは楽しいです。というより、厳しい高校野球から緩い野球系の部活やサークルに行くと、めちゃくちゃ楽しいです。僕は高校時代の、野球部で公立高校だったんですが、まあまあ強くて監督も厳しくてかなりしんどかったです。その地獄みたいな高校生活から、緩い野球系の部活に入ると、もうたまらないんですよ。「あれ、ノックってこんな楽しかったっけ？」ってなるんです。僕は最初、嬉しくて泣きそうになりながら、ソフトボール部でノックを受けてました。高校野球も高校野球で、とてもいい思い出です。あんなに野球に注いだことはなかったですし、これからもきつくないでしょう。その

くらい充実してました。ソフトボール部では、今はピッチャーとシヨートをしています。実は僕、小学校時代はソフトボールをやっていたので、ピッチャーはできるんです。あのウインドミル(知っている人いるかな)ができればいいです。ライズボールも投げれちゃいます。スキーが好きなたちに向けて、違うスポーツの話をするのは、自分でもどうかと思います。それだけ今はソフトボールが好きなんです。早く雪が降ってクロカンをやりたいなと思います。けど、昨シーズンの長期合宿はしんどかったです。今年は新入生も入ってくるのでどんな合宿になるか楽しみです。以上Dの部員文でした。読んでくれてありがとう。

いつもお世話になっております。

宮崎 真瑛

大学に入学して早くも一年が経ちました。今日は地元埼玉に帰省する際によくお世話になっている東北急行バスについて語ります。ここに私は東北急行の回し者ではないことをここに添えておきます。このバス会社について知らない方も多いと思われまますので、自身の認識による偏った説明をしておきます。この会社は一言でいうと東武鉄道グループの高速バス会社で、東北急行バスという名前にも関わらず、一切東北要素のない金沢や大阪方面にもバスを走らせています。父方の祖父がこの会社の存在を教えてくださいました。この会社の存在を知ったきっかけでした。気になったので調べてみると仙

台東京の間に高速バスを走らせていることが分かり、値段も「R線」の運賃とそれほど変わらないということに衝撃を受けました。5 時間半という長い乗車時間も広々とした3列シートのおかげで快適に過ごせます。途中2回ほど休憩があり、道中ではSAを観光することもでき、有意義な時間を過ごすことができます。

東北急行は仙台東京間の高速バスに力を入れているようで、3列シート車による毎日運行の「ニュースター号」が昼行4往復、夜行1往復に加えて、金土日には4列シート車による「ホリデースター号」が昼行夜行各1往復ずつ増発されるといふ充実ぶり。時々鈍行で帰省するのですが、何度も乗り換えが必要であったり、白河の関を超える新白河黒磯間の部分の本数が他の区間より少なく、待ち時間が長かったりするので、その度に東北急行のありがたみを実感しています。地元が東武線の沿線なのですが、「ニュースター号」の昼行便の始発は東武線と直接乗り換えられる東京スカイツリーにも立ち寄ってくれるので東北急行はさらに魅力的なものになります。

他にも仙台と東京都を結ぶ高速バスは「Rバス」など様々な会社が走らせていますが、目的地が帰省には不便な新宿や池袋などになっていたり、4列シートで長時間乗車していると疲れてしまったりするので現時点の私のベストアンサーは東北急行の「ニュースター号」ということになっております。早くて快適な新幹線を使えばいいと考える方の中にはいるかもしれませんが、合計で1万円以上かかる場合が多く、多くの学生には現実的なものにはなりえないと

個人的に考えています。皆さんも仙台東京間(特に下町エリア)を移動する際にはコスパが良くて快適な東北急行バスの「ニュースター号」も選択肢の一つに加えてみてはいかがでしょうか。

ディズニーに行きたい

吉田 溪人

大学生になって自分の好きなことに時間を使える。だから好きなディズニーにたくさん行きたいと思っていた。しかし、現実はその甘くなく、まず授業が忙しすぎる。週で空きコマが3コマしかないのは問題である。友達がインスタにディズニーに行っているのを投稿しているのを見てとても羨ましくなる。ここから僕のディズニー愛を語りたいと思う。

僕の家族はみんなディズニーが好きで小さい頃から毎年のように連れて行ってもらっていた。自分が住んでいたのは秋田の片田舎なので車で行くには7時間かかる。基本車で前日の夜から移動することが多かったため、行くだけで大イベントである。小さい頃から行っていたからか、ディズニーの世界観が大好きである。アトラクションの待ち時間も全く苦ではない。日常生活の殺風景ではなく、どこに目をやっても飽きることの無い景色を見ることが出来る。アトラクションも工夫が凝っていて、最近では世界最新の技術を駆使したアトラクションも追加され、この世のものとは思えないほど素晴らしいと感じた。パークの魅力伝えようとすると1万字を超えそう

なので、ちょっと別の話をしよう。

僕はデイズニーのパークに加えて、映画も好きである。自分のおすすめは塔の上のラプンツェルである。魔女によってさらわれた王家の娘が塔の上に幽閉されていて、外の世界を見た事がなかった。しかし、ユージーンとの出会いによって外の世界の楽しさを知り、次第に恋に落ちていく物語である。ランタンを夜空に飛ばすシーンが感動的で今でも涙無しでは見られない。もうひとつ好きな映画がリトルマーメイドである。人間の世界と人魚の世界の話であり、お互い絶対に触れ合ってはいけないとされていた。しかし、人魚であるアリエルがエリック王子に恋をして人間と人魚の世界の障壁を次第に無くしていくという物語である。この映画は今実写化されて上映されていて、この前見に行ったが感動してうるつときてしまった。(関係ないが、20歳になった途端涙もろくなった気がする。)映画も語るとまだまだ話せそうだが、いったんここまでにしておこう。大学は自分の好きな物に没頭して追求していくことができる。自分はデイズニーリゾートに行けない間は、映画を見たり情報を集めたりして楽しみ、忙しくなくなったらパークで存分に楽しみたいと思っている。なんなら、1人でも世界観を楽しみに行きたい。でも金ないので今はバイトしましす。

コスメティック渡邊

渡邊 梓

皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は良くも悪くもありません。オーブニングトークとして僕の失言を紹介します。五月下旬にサークルの活動の一環として総勢六人で石巻に向かいました。石巻駅から活動場所までみんなで徒歩で向かっている際に、一年生の女の子の頭上に鳥の糞が落ちました。普通だったら、そのような残酷な状況に対して気遣いの言葉をかけるべきなのですが、その時の僕はその状況に面白味を感じ「今、どういう気持ち？」とたかひろみみたいに聞いてしまいました。すると他の一年生からガチトーンで「最低ですね。」と言われてしまいました。僕はまたしても人からの信頼を失ってしまったようです。

それでは本題に入ります。スキー部の皆さんは私に対してどのような印象をお持ちでしょうか。私の部活中の普段の言動を通して、お調子者とか変人とかお思いだと存じますが、「陰キャ」とはあまり思われたことはないでしょう。しかし、この質問を私のバイト先の人たちにした場合、まさしく「陰キャ」と思うに違いありません。ここで状況を整理させていただきます。私はスキー部やサークル、授業繋がりや友達などの面前では明るく騒がしく元気に(陽キャとも言いたい)過ごしているのですが、バイト中の私は基本誰とも話さず、いざ話すとなっても皆さんが想像する陰キャ像のようにおどおどして相手の目を見ることが苦しい時があります。つまり僕は二つの人格を持っていることになりました。

このことを知っているのはこの世界に二人だけです。バイトの先輩でありサークルの先輩でもあるかなでさんとバイトの同僚であり

授業繋がりの友達でもある小暮君です。二人は私のことをどのよう
に捉えているのでしょうか。バイト中とバイト外の私の様子の違い
に多少なりとも関心を持たれているようです。小暮君はこの状況に
面白味を感じており、かなでさんはバイト中に陰キャモードの私を
心配してたまに声をかけてくれます。その度に嬉しく思う一方で心
配をかけてしまっている僕自身に対して心苦しうのです。

では、なぜ僕はバイト中に「陰キャ」なのでしょう。理由は簡単
です。初手を間違えてしまったからです。基本私は初対面の人と会
ったり初めて何かの団体に入ったりする際は、明るくふるまうこと
を心掛けています。しかし、およそ一年前のことになりましたが、初め
てバイト先に出勤した際、そのことをすっかり放棄してしまい無口
で陰な態度で過ごしてしまったのです。それ以来その状況を覆すこ
とが恥ずかしくてできなくなり今日に至ってしまっただけです。読者
の皆さん、ここからどうか学んでください。初手が肝心だというこ
とを。私は初手で成功したパターンと失敗したパターンの双方とそ
れぞれのその後を知っています。初手で成功すれば皆さんの未来は
明るいのです。

なーんたって！

作り置き

小澤 わかば

コンバインド3年の小澤わかばです。主務と会計の役職を頂いてから3ヶ月が経ちました。SAJとかFISとか学連と県連とか、どうしてこんなに面倒なのでしょう。一つの組織で全部完結すればいいのと思いつながら、シクミネットと格闘する6月を終えました。

部活以外の私は、基本的に設計に時間を費やしながら生活しています。今は初のグループ作業で、集合住宅を設計していますが、居住者像と動線と、生まれるアクティビティと：考えることが多くていつも頭の中がぐつぐつしています。

ここで話を変えて、最近のマイブームについてお話ししようと思います。それは、タイトルにもある「作り置き」です。言葉通りの意味で、後日食べるものを前々から作っておくことです。

発端は、キャンパス内にある生協のおにぎりが異常に高いと思っただことでした。おにぎりに限らず、東北大学の生協はなぜかコンビニを超えてくる値段で食品を販売しています。パンは150円から200円、お弁当は500円、炭酸飲料は160円。コンビニのプライベートブランドの方が安いですね。3年生になって、それこそ設計でほぼ毎日青葉山に通うようになってから、幾度となく、スーパーで買った方が安いのに、でも朝ギリギリでスーパー寄ってる時間無いんだよな、と思っていました。そんな時に思いついたのが、朝冷凍ご飯を解凍しておにぎりを作ることでした。混ぜるタイプのわかめから、

昆布やサケと徐々にレパートリーが増え、お弁当を作ってみようと思うまでには大して時間がかかりませんでした。朝5時に起きて食材を切り始めるお母さんを想像すると、お弁当を作るのは異次元のハードタスクに見えますが、冷凍しておいたおかずを解凍して詰めるだけなら、おにぎりを作るのと何も変わりません。むしろ、ご飯も詰めればいだけなら、にぎる手間も削減できます。

お弁当モチベーションが上がりました私は、ピーマン、にんじん、玉ねぎ、じゃがいも、ニラなど、おじいちゃんから送ってもらった野菜と、冷蔵庫に残っていた野菜と、さらにスーパーで買いそろえて、おかずの作り置きを始めました。元々そんなに量を食べる方じゃないことに加え、細かいことが嫌いな極度の面倒くさがりなので、フライパンに収まらない量を一気に作って、少量ずつ分けて冷凍庫に入れていきます。簡単なことで、あつという間に冷凍庫は満タンに。それでも作り続けるので、①料理する②小分けにする③冷凍庫を整理する、の流れが定番になりました。

特に目的があつてこのテーマを選んだわけではないのですが、とにかく、ちよつと女子力、生活力、人間力的なものが上がった気がして自信に繋がっています。こんなに長く書いたけど、まだ買ったお弁当箱でお弁当作ったことないんですよ。仕切りとかパッキンとか洗うのを考えると気が滅入りますが、負けずに頑張ろうと思います。

レオザさん凄い

永島 史帆

最近ずっと見てるユーチューバーについて書こうと思います。多分あんまり見てる人はいません。「Leo the football TV」というチャンネル名前で活動されているユーチューバー（通称レオザさん）で、欧州サッカーの戦術分析と自身が監督を務める「シユワーボ東京」の監督をされています。自分はサッカーについては完全に初心者で、リフティングも三回くらいしかできませんが、ここ一年くらい一番好きなユーチューバーかもしれないかもしれません。もともとサッカーは見るのが好きで観戦していましたが、最近勉強バイト部活が忙しすぎて、試合がほとんど見れません。そこでこの人のリアルタイム戦術分析をラジオ感覚で垂れ流しています。（ほんとに時間が欲しいです。）

しかし最近夢中になっているのは戦術分析というよりは、「シユワーボ東京」の監督としてのドキュメンタリーの方なんです。まずは簡単に「シユワーボ東京」というチームについて説明します。このチームは関東リーグA部に属する社会人チームで、メンバーは自分の仕事と両立しながらサッカーに励んでいます。監督のレオザさんというのと、自身の地道なユーチューブ活動で得た知名度（日本代表のブラボー長友さんも知ってるそう）を生かして、半年前から本気でチームを「リーグに昇格させるために活動しています。いつも通り前置きが長くなりましたが、優秀な選手の補強など本格的に昇格に向けて動き出したタイミング（半年前）」で始まったのがこのドキ

ュメンタリーです。

とにかくレオザさん自分の今までの努力が原動力となった戦術への自信によって、メンバーの信頼を得て前に進んでる感じがすごくいいです（語彙力がありません）しかし自分がしたいようにして、周りが意見を言いづらいような雰囲気とかは絶対につくらず、常に密に選手への声掛けをしています。まさに理想の上司って感じがしますし、マネジメント力に圧倒されます。例えばセレクション等でスタメンを外れてしまった選手に対して、最大限歩み寄るけど、チームの事を考えて情を入れすぎないでかつまたモチベーションを取り戻してもらえてるところとか：挙げだすときりがありません。まじですげーです。合理性と情熱で成り立つこのチームは本当に理想形だと思っし、あらゆるスポーツチームが目指すべき形なのかもしれません。

自分は焦るとすぐに自分のことで精いっぱいになってしまうので、このドキュメンタリーを見て勉強しようと思います。社会人になってSPURが家に届く立場になったとき、「シユワーボ東京」が「昇格してやることを祈って応援します」。

自分の板について

山田 唯人

こんにちは！3年アルペンチーフの山田唯人です。昨年のシーズン中に骨折してもう5ヶ月ほどが経ちました。人間の修復力ってす

ごく、この間の練習では6kmのペース走も完走する事が出来ませんでした！まだ走った後とか痛いときはあるので不安ではあるんですけど、多分来年のシーズンには間に合いそうで安心しました。いままではなく、辛いメニューを部員に指示しておきながら、自分はやらずに見ているだけ、というような嫌なやつポジションを決め込んでいたので、これからは部員と一緒に練習できそうで安心しました(笑)

さて、今回のSPURでは、これまで暖めてきたスキー板に関する話題をしていこうと思います。自分がこれまでずっとスキーをしてきた経験と、昨シーズン新たにSGに出た経験で、スキー板が擬人化したとき、どのような性格になるかというのを説明していこうと思います。少し気持ち悪いかもしれませんが、お付き合いください！

まずは、自分が一番好きな競技のSL板についてです。SL板はさながら自分に従順で、ついてきてくれる年下女の子、というようなイメージです(笑)。自分が行きたい方向に操作するとその通りについてきてくれ、さらには自分が上手く滑れるようにサポートしてくれます。さらにはスイートスポット(女子でいうツボのようなもの)を外しても、少しくらいなら「やれやれ、、」という感じで渋々ながらついてきてくれる、かわいいスキー板です。

続いてGS板ですが、GS板はツンデレという印象です。GS板は自分の言うことは聞いてくれない時が多いですし、曲がりにくいので扱いにくい板です。しかもスイートスポットを少し外すだけでもうどっかに行ってしまうって制御不能になってしまいます、、。しかし、

スイートスポットびつたりにすることでデレの部分が発動し、めっちゃめっちゃ言うことを聞いてくれる子に早変わりします！そこがかわいいのと、スイートスポットびつたりになった時が気持ちいいのはいていて楽しいですね(笑)

最後に、先シーズンから履き始めたSG板についてです。SG板は、自分をひっぱってくれるような年上のアグレッシブな女の子という印象です。SG板は基本、というか大体自分の言うことなんて聞いてくれないし、どんどん前に進んでいってとにかくスピード出そうぜ！みたいな勢いの板です。また、なんでそんな曲げるの？前進むよ！みたいなめっちゃかっこいい板となっています。ただ、あまりに曲がらなすぎで困るところもありますが(笑)。

若干、というか結構気持ち悪い感じになってしまった感もありますが、アルペンスキーの板紹介でした。本当はもっと語りたい気持ちもありますが、いったんはこら辺で終わっておきます。

最近買いたいもの

山西 友貴

こんにちは。ランナー3年の山西です。最近の趣味とまでは言いませんが、YouTubeやAmazonなどでQOLが上がるアイテムみたいなものを見ている時間が楽しいです。といっても、スキー部に属している時点でそんなところにお金を使う余裕はないので見るだけに留まるのですが、、。最近見えて欲しいなと思ったものを

いくつか挙げていきます。

まず食洗機です。僕は全ての家事の中で洗いが一番嫌いです。なんで食べた後に動かなきゃいけないんですかって話です。仕方ないからやるんですけど。最近はどうもめんどくさいので、お皿にラップ敷いたり、器と一体化している冷凍食品を買ったりして洗い物の量を減らしています。次に炊飯器です。僕は米をおかずに米を食べられるぐらい米が好きなので、他のところはケチっても、いい炊飯器だけは欲しいです。でも冷凍ご飯は嫌いなので、保温しても米が固くなりにくい炊飯器が欲しいです。次に全自動洗濯機です。僕が皿洗いの次に嫌いな家事は洗濯物を干すことです。洗濯物を干す時間ってなかなか無駄な時間じゃないかと最近考えています。なんでわざわざ洗濯機から取り出して干さなアカンねんって毎回思います。ズボラですみません。乾燥までしてくれたらどんなに楽かって話です。なんなら畳むところまでやってくれないかなー笑。次に光目覚まし時計です。朝に音で急に起こされるのではなく、光でゆっくり起こしてくれるアイテムです。目覚ましの前に睡眠時間をちゃんと確保しろよっていう声が聞こえてきそうです。その通りです。次にコーヒーマーカーです。朝優雅にコーヒをゆっくり飲んで、1日を始めたいです。でも、朝から運動して部員と会う生活も捨てたいです。次にシーリングライトです。自動で電灯を点けたり消したりしてくれるものです。もう電気を点けたり、消したりするのすらめんどくさくなってきてしまいました。しかも最近電気代あがっていますからね。あと家着いた瞬間に自動で電灯が点いたらち

よつと出迎えてくれた感(?)があつていいなと思います。次に浄水器です。最近楽天でラベルレスの500E1×24本のお茶を買っているんですが、ペットボトル捨てるのがめんどくさいです。すみません。頑張つて捨ててます。浄水器あれば楽だなーって感じですよ。ウォーターサーバーは場所取るから嫌です。次にポップアップトースターです。焼けたら食パンが飛び出すやつです。楽しそうなのでほしいです。

教育系 YouTuber

村上 大空

今年もSPURを書く時期となり、1年という時の短さを感じている。これを書き終えても、もう一回来年書かなければならないことに少し気落ちしているが、そんなことも言っていられないのでなんとか書き始めようと思う。

さて、大学生を2年とちよつと過ごしてみても私はコミュニケーション能力の重要さと自分の無さを痛感することが多い。21歳にもなつてこのままではアカンと思ひ、今年は何んとか改善しようとしてるところだが、それに伴ひ私が日々学ばせて頂いているYouTuberの話を書こうと思う。

うるさかった蝉の音がようやく落ち着き、そよ風が心地よくなつた初秋の夜、私は意を決して一人の女性に声をかけた。気持ちと反して震える声。自分の声が自分の物と思えなかつた。彼女は少し微

笑み、哀れみのような目を向けて去って行った。このような経緯になつた理由は割愛するが、要は、私は他人とのコミュニケーションに失敗し冷笑されたのだ。以降私は他人と会話するのが怖くなり、コミュニケーションがなくなってしまった。いや、元々コミュニケーション能力が高くは無かつたのだが、今まで騙し騙し生きてきた。しかし、ここぞという窮地に立った時そんなものは通用せず、私はすっかり自信を失つてしまった。

そんな時、一人のYouTuber、S氏が数ヶ月ぶりに動画を更新しているのに気がついた。彼は初対面の人とのコミュニケーションの取り方、距離の詰め方を実践的に教えてくれる教育系YouTuberである(多分)。昔はただすごいなと感心して見ていたのだが、久しぶりに動画を見ると、傷心している私にとって、いとも簡単に相手と仲良くなる彼はまるで神様に見えた。

そんな彼が先日全人類待望の顔出しを行ったのである・・・!そして驚くことにあまりかっこよくなかつたのだ。不細工というわけでは決していないが、高く見積もっても中の上といったところ。そして背もあまり高くない。心のどこかで「どうせ高身長イケメンなんだろうな・・・」と思つていたのだが、彼も同じ人間だったのだ。

彼の動画の良いところは、とにかく全て実践的であり、説得力がすごいところである。また、シチュエーションや相手、手法も様々であり、飽きること無く動画を楽しむことが出来る。さらに失敗パターンもアップしてくれているので失敗を恐れない勇氣も与えてくれる。全国の男子に技術と勇氣を与えてくれる彼はまさに教育系

YouTuberの鏡である。

この話を聞いて、コミュニケーション能力を向上させたいと思つた工学部男子諸君は是非自分に声をかけてほしい。彼のチャンネルを教えるので一緒に動画を見てコミュニケーションを学ぼう!

教育実習行ってみた

石橋 賢

今回は、教育実習に行ってみたという事で、そもそもどうして教職免許を取ろうとしているのか、教育実習ではどんなことをするのか、実際にやってみてどんな感じだったのかについて、ご紹介しようと思います。

そもそもどうして教職免許を取ろうとしているかについてですが、大学1年生の時に、コロナで暇だし、単位そろえるだけでもらえるみたいだし、ないよりあったほうがいいだろうしなと思って、教職の授業をとり始めたのがきっかけです。そんな感じのふわっとした気持ちで、ここまで必要な単位を取ってきて、とうとう教育実習に行くところまで来てしまいました。

教育実習ではどんなことをするのか、おおよそその一日の流れを紹介したいと思います。朝6時に起床し、1時間後に家を出発します。7時20分に学校に到着し、すぐに教科担当の先生と打ち合わせを行います。その後、教育実習担当の先生とも打ち合わせを行い、8時5分からは週番集会に出席します。週番集会が終わると、職員打ち合わせが始まります。その後、朝のショートホームルームが行われ、8時45分から10時25分まで授業を見学します。その後の10時35分から11時20分までは教材の準備に取り組みます。そして、11時30分から12時15分まではプリント作成に時間を割きます。お昼休みは12時15分から取りますが、その間に先生に授業見

学の許可を取らなければなりません。午後1時から2時40分までは授業を担当し、その後の2時50分から3時35分までは再び授業を見学します。3時45分からは帰りのショートホームルームがあります。その後、3時55分から教室の掃除を行い、4時20分からは教育実習日誌にその日の実習内容を記入します。勤務終了時間は4時55分ですが、その後も授業プリント作成に取り組み、6時まで働きます。退勤後、6時20分に帰宅し、夜11時まで授業プリント作成のために再び作業を行います。そして、夜11時に就寝します。こんな感じで、月から金まで2週間学校に通いました。ほぼ休む暇なく動き続けていたのでかなりしんどかったです。

今回、教職実習に行ってみて、一番に感じたことは、教師は偉大だということでした。朝早くから夜遅くまでぶっ通しで働き、土日も部活があつて休めないのに、生徒のために毎日働き続ける教師は尋常ではありません。生徒が思っている教師の仕事は氷山の一角に過ぎないことが、教育実習をすることで身をもって感じました。こんなことは、おそらく大学のうちにめったに経験できないものだと思うので、ぜひ、皆さんも教育実習に行ってみてはいかがでしょう！

酒っていいよな

岩佐 帆夏

こんにちは！ランナー4年の岩佐です！
文字数稼ぎに最近のことを書きます。最近の悩みは、全国公以来運

動してなくて肉がついてきたことです。夏までに痩せたい！あと今年は競技やるつもりなかったのですが、ちょうど昨日県連強化指定の話が来て、国体でリレー組みたいな、と思ってしまいました。どうしましょう。あとあんなときよみとリレー組みたい所存です。やば走んなきゃ。

今年何書こうかなーってなあって、最近の趣味、TikTokで可愛い赤ちゃん見る、友達と深夜徘徊、バイトなので、話が広がらないです。なので最近週二くらいでお世話になっている、酒について書きたいと思います。今まで酒じゃなくて飲みノリが好きだったけど、ちゃんと酒を味わうようになりました。酒イキリみたいな文章になったらごめんください。所詮そんなもんでしかないです。出会った？時系列順に書きます

・ストゼロ

最初酒教えてもらった先輩が一生これ飲んでて、酒のデフォがこれと思わされた。でも今も好きコスパ良い。いつもグレフルだけの前あったシークアーサーうまかった

・ハイボール

痩せるって信じてる。今年のインカレのGoGoクーパー的なやつで4L角買ったけどまだ空けてない！あとコッコちゃんの温州みかんハイボールうまい

・クライナーはじめシヨット系

クライナーの空き瓶でドミノしたら可愛いってことだけ。某アプリもゲームも含めなんであんなに好きだったんだ

・ビール

就活のブラックインターン後のビールで乾杯が忘れられない社会人ってこれのために仕事してるんだな！！！！になりました。最近好きなのはサツポロラガービール、瓶しか勝たん。

・セブンの100円シリーズ

これもまたコスパ良い、バイト前に飲んで気合い入れるならこれのグレフルシヨット。ライムの9パーショングはいっちゃんコスパ良い。

・果実酒

やまにしが滑舌悪くて言えない。おすすめはあらごしみかん酒(居酒屋でつで飲めます)と梅酒。今年梅酒家で作りたい

・ヨーグルト酒

会津若松の「snow drop」ってやつ、めちゃくちゃうまい。調べたら日本酒ベースヨーグルトリキユールらしい。ブルーベリー味もあってこれもまた美味しかった。急に身近になるけど、まるたまのピーチヨーグルトも好き

・日本酒

目上の人に連れてって貰った先でとかが出会いだけど、居酒屋でつ(みんな来てね)で働きはじめたり、就活関係でちょっといい居酒屋いったりでハマった！けど全然覚えられないよ！記憶ある美味しかったの並べます

而今、寫樂、飛露喜、一步己、天明、風が吹く、鳳凰美田、十四代、

No.6 X-type

酒は飲むだけじゃなく無限の出会いの可能性を生み出します。今やっぱ酒絡みのおもしろい出会い書いときゃ良かった！てなりました。遅い。これ見た下級生は積極的に飲み行きましよう。

私はこれから接待とかで会社の金で酒が飲める人生楽しみです。

犬

尾碕 明

部員文書くことをすっかり忘れていました。今日が締め切りの日なので本日の23時59分までに終わらせればセーフなのではないかと、必死にパソコンに向き合っています。だからというわけではないのですが、思いつきで面白くない文章を書いてしまうとと思うので、ぜひ他の部員の文を優先的に読んでください。暇で暇でしょうがない方だけ読んでいただけると幸いです。課題の提出期限をその日いっぱい設定しているのに、23時59分に提出が殺到すると夜中に課題を提出することに対してお怒りになる方たまにいますよね。それならもともと17時とかに設定すればいいのに、いつも思っております。

さて、最近実家に戻ってきているのですが、実家の犬がとても可愛いのです。ミニチュア・ダックスフントという犬種で、短い脚と長い胴が特徴です。その愛らしい姿から人気も高く、ペットショップでは30万円ほどで売られています。しかしながら、驚くべきことに、

実家にいるこの犬は、河原に捨てられていたところをうちの両親に拾われました。そう、タダなんです。最初は、うちで買うつもりもなく、警察に拾得物として届けていました。しかし、ちょうど里親が見つかりそうな頃、父親がこの犬の相場価格を知り、その瞬間目の色を変えて「うちで飼う！」と言い出したのです。がめついというかなんとというか。(私は、父は最初から犬を飼いたかった上に拾って懐かれたことで愛着が湧いてしまったが、母を説得できるような言葉やタイミングが見つからず、やっと見つけたその言葉が「この犬は30万円!」「他の人に引き渡すなんてもつたいない!」だったと思っております。)今となっては、あたかも生まれた瞬間からこの家の住人でした、というような態度で幸せそうに暮らしているので犬にとってもよかったのかな、なんて思っています。母と犬は毎晩同じ布団で寝ています。暑そう。

そして、最近の私の悩みは、将来どの犬種を飼うか、です。犬を飼うことは決して変えられない決定事項です。今の選択肢は、パグ、コーギー、ゴールデンレトリバーです。そして最近、バーニーズ・マウンテン・ドッグが候補に加わりました。どの犬もかわいいんです。Tigerで犬の動画を見ると時の流れが2倍速になって恐怖です。皆さん、魅力的な犬がいたら、各犬種の推しポイント教えてください。ご意見待ってます。

以上、くそおもんない文章で大変失礼いたしました。

てれさばんだ発見

黒田凜生

てれさばんだ発見とは、私が大好きなアイドルのキャッチフレーズである。

彼女の名前は池田瑛紗(いけだ てれさ)。私のSNSをしつかり見てくれている人であれば、「またか」と思ったであろう。私は、ある日を境に1日のほとんどを乃木坂46の動画鑑賞・小嘶の収集に費やすようになり、お前自身の人生には何も無いのか、と思うほど、とにかくアイドルのことは考えていないのである。そのため部員文でも、このように他人のキャッチフレーズをタイトルとし、隙ありとてれさばんの魅力を語ろうとしている。いい機会なので、みんなに私の推しについて知ってもらおうと思います。よろしく。

てれさばんの魅力1つ目は、控えめな性格だ。結局見た目じゃなくって中身で好きになる、みたいなことである。てれさばんは少しインキヤみたいなお愛さがある、齋藤飛鳥さんによれば「誰よりも挨拶してくれるけど絶対に目が合わない」そうだ。それから、昼食のお弁当が1個では足りず、周りをキョロキョロ見渡しながらか忍者のように楽屋に忍び入り、お弁当を5個取って帰ってくるというエピソードもある。食いしん坊なのに、周りに見られたく無いという恥じらいもあるのが可愛い。もうこの話だけで、白米3杯いけそうだ。

2つ目の魅力は、芸術作品のような顔立ちである。誰が見ても造形が整っているとわかる彫りの深い顔の作りや、クリッとした大きい目は、乃木坂46として大勢でステージに立っていても群を抜いてかわい。前段落で述べたように、私はてれさばんの中身に惹かれていたので、その美しさに気がついたのはほんの最近のことである。ライブ会場でモニターに映し出されたてれさばんを見た時、吸い寄せられるような瞳と佇まいに度肝を抜かれ、私の推しはこんなに美人なのかと驚いてしまった。その美貌も、彼女のファンが日に増えている大きな要因である。

最後に、彼女の1番の魅力をお伝えしたい。それは、アイドルとしての彼女の成長スピードと努力量である。実はてれさばんは、乃木坂46に所属しながら二浪をし、東京藝術大学に合格している。トップアイドルながら日本1の芸大に通う生活は、どれだけ大変なのか想像しただけで恐ろしい。その一方で、どのメンバーよりも多くブログを書き、そこに付けられる何百ものコメントにも全て目を通し、1日10通以上のファンメールを送っている。どれだけ人気が出て努力を絶やさないとその姿勢に、一人の人間としても惹かれてしまう。最近、てれさばんのことが好きすぎて、これは恋愛感情なのかと思う時がある。女性ファンにそこまで感じさせるなんて、アイドルとして出来すぎといえるだろう。ぜひスキューの皆さんも池田瑛紗を推しましょう。何か気になることがあれば、なんでもいつでもどこでも聞いてくださいね。

空前の韓国ブーム

堀 倫彰

なぜか書くのが5回目ですが、皆様お付き合いください。タイトルにある通り、今、自分には「韓国」が流行っています。きっかけはLE SSERAFIMという韓国ヨジャドル(女性アイドルの意味)グループを知ったことでした。去年のお晦日に日本の紅白歌合戦にも出演していました。スキュー部の皆さんは九大戦の真つ最中だったと思いますが・・・このグループのメンバーには、日本人2人、韓国人2人、韓国系アメリカ人1人いて、多国籍グループです。韓国のアイドルグループではこのような構成をしたものが多くあるように感じます。多分、最初から韓国だけでなく世界的な人気を狙ってるんだろうなと思います。高校生の時は日本のアイドル乃木坂46が好きでしたが、日本と韓国のアイドルはまた少し違っている気がして、それもなんだか面白いです。

あと、日本と違うという点では、韓国は音楽番組が非常に多く、K・POPの人気の高さが表れていたり、バラエティ番組の編集の仕方が少し違っているように感じます(日本の方がお笑い面では優れているかも)。こうして、好きな韓国グループを通じて以前よりも韓国について知るようになったのです。

韓国料理にも興味が出てきて、韓国料理屋に何度か食べに行きました。海鮮チヂミやキムチチゲなど結構おいしいです。韓国料理といえば辛いイメージがありますが、本場の韓国では辛さの基準と

して、日本でもよく売られている辛ラーメンが使われ、「辛ラーメンより辛い」とメニューに書かれているそうです。韓国ドラマの食事シーンをみると、韓国人はお酒も強い人が日本より多そう。で、焼酎をストレートでぐびつといっているシーンが出てきたり、食事中ペチャクチャと音を立てて食べていたり、皿を持ち上げずに食べていたりとは日本とは異なる文化がよく出てきます。女性アイドルでさえ、少しくちやくちや食べていた時にはちよつと衝撃で、異文化に触れるときの戸惑いであり、楽しさでもありますよね。

最近では、NHKの語学番組で韓国語をちよつと勉強しています。韓国語ではハングルをつかって「곤리외(こんには)」のようにかかれ、呪文のように見えるのですが、勉強すると母音と子音などの組み合わせで、ローマ字のように書いたり読んだりできるということがわかりました。

今のちよつとした夢は、実際に韓国に訪れ、本場の料理や文化を体験したり、韓国語をつかって韓国人と少しやり取りすることです。はたしてそれに付き合ってくれる人(友達、彼女etc.)はいるのでしょうか？

逃げのボツ集

渡部 新

もう提出期限まで時間が無いのでさっきまで書いては消してを繰り返していた冒頭をいくつか載せて部員文にしたいと思います。

幼稚園の頃の将来の夢は忍者でした。今日は、将来の夢が叶っていた世界線の忍者渡部の一日を紹介します。(日頃のルーティンを忍者っぽい用語に置き換えて書いていこうと思ったが、部活を修行と書き換えるくらいしか思い浮かばず断念)

仙台在住 22 年、実家暮らし歴 22 年のそろそろ実家を出たい渡部が、1 人暮らしについて妄想します。(自分の生活圏がこちら辺で、重心を取るところになるからこのあたりで、スーパーも近いこちらへん的なのを書こうと思っていたが、自分の生活圏を晒したくなかったため断念)

僕は中学校までずっと坊主でした。その反動からか今、髪を結ぶマンバンに魅せられています。(今年の 3 月、シーズン終わりに 2 年間続けたマンバンを切ったため『マンバンに魅せられた』は過言。嘘はつきたくなかったので断念)

それぞれ詳しく解説していきます。

まず、忍者ですが幼稚園の卒園文集に載っていました。幼稚園の卒園文集、小学校の卒業文集：を自己盗用してあれこれ書こうと思っていました。卒園文集しか見つかりませんでした。中学校の生徒会誌も見つけたのですが、生徒会誌にわざわざ寄稿するほど出来の良い人間ではありませんでした。生徒会誌に寄稿していたら今ここでこんなに書くことに迷っていません。

次に、1 人暮らし妄想ですが、結論は研究室が片平キャンパスにあるのでその近くか、学院大の五橋移転で学生向け新築物件が増えたであろう、五橋と河原町エリアに住みたいというものでした。実家

暮らし歴 22 年なので 1 人暮らしエ آپ となっても 1000 字も書けません。実家暮らしは冷蔵庫に無尽蔵に食材があり、外食しなければお金がたまる最強の環境なのでもう少し出ないでおこうと思います。

マンバン、楽なのですが飽きて切ってしまいました。しかし、切ってみると隣の芝生で、また伸ばしたくなっています。実際葉だし、美容室代も浮くのでお勧めなのですが周りの人からの評判は良くないですよ。

令和4年度会計報告

支出の部			収入の部		
項目	細目	金額	項目	金額	
登録費	学連登録費	¥145,000	部費	¥1,366,525	
	SAJ/FIS登録費	¥225,252	新歓費	¥198,200	
	県連登録費	¥81,300	体育部補助金	¥155,000	
エントリー費	九大戦	¥80,000	前年度繰越金	¥869,652	
	インカレ	¥219,000	70周年式典会費	¥725,600	
	全国公	¥340,000	日本生命保険協賛金	¥200,000	
	サマノル	¥21,000	OB寄付金等	¥1,302,500	
	国体予選	¥93,360	SPUR広告費	¥35,000	
70周年式典	70周年式典経費	¥194,051			
保険料	団体スキー保険	¥170,366	支出合計	¥2,929,033	
道具代	ローラー	¥493,270	収入合計	¥4,852,477	
	無線機	¥24,297			
	ワックス	¥184,538			
	消耗品	¥2,239	来年度繰り越し	¥1,923,444	
SPUR経費	印刷費	¥375,303	増加分	¥1,053,792	
	発送費	¥6,477			
	はがき	¥3,096			
新歓費	新歓費	¥253,294			
その他	銀行手数料	¥2,368			
	はがき	¥5,000			
	北雄杯	¥5,861			
	色紙	¥3,961			

令和4年度寄付金報告

昭和29年卒	高橋 公正	昭和61年卒	喜多見 哲
昭和29年卒	伊藤 孝夫	昭和61年卒	島本 泰輔
昭和30年卒	鬼川 徹	昭和63年卒	鯨岡 秀紀
昭和30年卒	岩波 勝	平成5年卒	牧田 誠司
昭和34年卒	木名瀬 武男	平成5年卒	山田 みつき
昭和36年卒	石田 孝	平成7年卒	竹田 史彦
昭和38年卒	市川 民雄	平成8年卒	森 工
昭和38年卒	簗野 紘一	平成10年卒	石倉 綾
昭和38年卒	日下 俊直	平成17年卒	野澤 圭
昭和39年卒	吉田 睦男	平成23年卒	伊藤 文子
昭和39年卒	菅野 興文	平成26年卒	平野 弘幸
昭和39年卒	加藤 孝	平成26年卒	儀間 愛子
昭和39年卒	伊藤 憲克	平成25年卒	小林 東史
昭和39年卒	富田 光彦	平成31年卒	平山 悠暉
昭和40年卒	鈴木 正明		
昭和42年卒	高津 宣夫		(敬称略)
昭和42年卒	佐藤 佑		
昭和43年卒	原田 有造		
昭和43年卒	照井 頌二		
昭和43年卒	松久 勝利		
昭和45年卒	川田 正美		
昭和45年卒	高橋 喜三雄		
昭和45年卒	神谷 靖彦		
昭和45年卒	吉澤 静一		
昭和45年卒	矢口 弘志		
昭和46年卒	幸前 徹		
昭和48年卒	長谷川 明		
昭和53年卒	宮崎 豊		
昭和53年卒	堀松 政司		
昭和53年卒	五十嵐 豊明		
昭和59年卒	山口 浩人		
昭和60年卒	木村 浩之		
昭和60年卒	島本 泰輔		

令和 4 年度に御寄付いただいた方のお名前を掲載しております。令和 4 年度は計 1,036,000 円のご支援をいただきました。多額の寄付金をお寄せいただきありがとうございました。頂いた寄付金は、ヒュッテの布団・冷蔵庫の新調、練習道具の購入などに使わせていただきました。

なお、令和 5 年度分寄付金につきましては、来年度の SPUR 第 68 号に掲載いたします。今後ともご支援よろしく願いいたします。

お問い合わせ等は下記にお願いいたします。

- ・ 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内四一 学生支援課 課外活動係 気付
- ・ スキー部ウェブサイト (<http://ski-tohoku.main.jp>) のメールフォーム (下 QR)



令和5年 9月

寄付金のお振り込み方法のご案内

平素スキー部の活動に格別のご配慮をいただき、心よりお礼申し上げます。寄付金は銀行口座への振込により寄付をお願いいたします。

OB・OGの皆様の御支援を重ねてお願いいたします。

東北大学学友会スキー部 部員一同

銀行口座

ゆうちょ銀行:02200-4-19520

みずほ銀行 仙台支店:723-1077949

口座名義はどちらも「東北大学学友会スキー部」です。

<お問合せ先>

学友会スキー部 会計 小澤 わかば 電子メール: ski.racing.tohoku@gmail.com

東北大学スキー部部則

の者とする。

第一条 本部は東北大学学友会スキー部と称する。

一、部員は東北大学在学中の学生

一、会員は東北大学卒業生で在学中本部に在籍した者

第二条 本部は東北大学学友会運動部の一環として母校の名誉 のために

一、特別会員は、部長、副部長、顧問、コーチおよび特に部会で認めら

活動すると共に、各自技術の向上に努め、部員会員相互の交誼を

れた者

温め、その親睦を密にすることをもつてその目的とする。

第六条 本部部員は次の義務を負うものとする。

第三条 本部は前条の目的を達成するために次のことを行う。

一、入部の際、定額の入部費を負うものとする

一、対外試合の参加

一、部費として年間一定額納入すること

一、部報および名簿の作成

一、定められた部会、トレーニング合宿およびその他の部活動に参加す

一、各種部活動の実施

ること。欠席する際にはその事由を届けねばならない。

一、その他

第七条 本部部員の進退は部会でこれを決定することができる。

第四条 本部はその本部を東北大学片平丁校内に置き、その他の支部を統

第八条 部会は部員をもって構成し、主将が必要と認めた場合これを召集

合する。

する。

第五条 本部は部員、会員および特別会員をもって構成し、その資格は次

第九条 本部会員、特別会員については別にこれを定める。

第十条 本部会員は次の者をもって構成する。

部長一名 副部長一名 顧問若干名 監査若干名 コーチ若干名

(昭和四十年七月一日制定)

主将一名 副主将一名 主務一名 副主務若干名。

(趣旨)

第十一条 主将、副将、主務、副務は、前年度の役員の推薦により選出し、

第一条 東北大学萩雪ヒュッテ(以下「萩雪ヒュッテ」という)の使用につ

部会の承認を要する。その任期は一年(四月より翌三月)

いては、この規定の定めるところによる。

とし、再任を妨げない。

(使用目的)

第十二条 本部の経費は学友会費・部費・入部費・会費・寄付金その他の

第二条 萩雪ヒュッテは、東北大学(以下「本学」という)学生および教職

収入より充当し、会計年度は四月一日より翌年三月三

員の体育活動・研修等に使用するものとする。

十一日までとする。

(使用の願い出)

第十三条 主務は部員に対し年一回以上の会計報告をせねばならない。

第三条 萩雪ヒュッテを利用しようとする者は、所定の願書を使用日七日

第十四条 本部部則の改正は部総会で総部員の三分の二以上の賛成をもつ

前までに学生部長に提出し、その許可を受けなければならない。

て議決することができる。

(使用期間)

第十五条 本部部則は昭和三十五年七月一日をもってその効力を発する。

第四条 萩雪ヒュッテの使用期間は七日以内とする。ただし、特別の理由

があると認められたときはこの限りではない。

(使用日時等の変更および使用の取り消し)

事項は学生部長が定める。

第五条 本学において公務上の必要が生じた場合は、使用許可を取り消し、

附則

または使用日時等を変更させることがある。

この規定は昭和四十年七月一日から施行する。

2. 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という)に規定違反の

行為があると認められた場合は、使用許可を取り消すことがある。

(使用権利譲渡の禁止)

第六条 使用者は使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

(損害賠償)

第七条 使用者が故意又は過失により、建物・設備・備品等を損失又は滅失

東北大学萩雪ヒュッテを学友会スキー部が使用するときの方法に

したときは、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

ついて

(使用者心得)

(昭和四十二年十月二十日)

第八条 使用者は別に定める使用者の心得を守らなければならない。

(補足)

東北大学萩雪ヒュッテを学友会体育部スキー部が使用するとき、左記の方

第九条 この規定に定めるもののほか、萩雪ヒュッテの使用に関し必要な

法によるものとする。

記

スキー部活動に支障ない限りスキー部専用室を使用できるものとする。

一、東北大学萩雪ヒュッテ（以下「萩雪ヒュッテ」という）を、学友会スキー部（以下「スキー部」という）が使用するときは「東

六、スキー部は、萩雪ヒュッテの運営について随時本学に協力するものとする。

北大学萩雪ヒュッテ使用規定（昭和四十年七月一日制定）によるほか、次の方法によるものとする。

七、スキー部が強行訓練等により萩雪ヒュッテを使用するときは、学生部に届け出るものとする。

二、スキー部は萩雪ヒュッテの一部（二階部分）を通常専有するこ

とができるものとする。

三、スキー部が強行訓練の合宿のため萩雪ヒュッテを使用するときは、スキー部以外は使用させないものとする。

四、萩雪ヒュッテのスキー部専用室を使用できる者は、スキー部部长、副部长、監督、部員とする。ただし東北大学（以下「本学」

という）関係者が管理上必要な場合は使用できるものとする。

五、萩雪ヒュッテをスキー部以外の者が使用するときは、一階部分を使用するものとする。ただし、一階の各室が一時的に収容能力を超えたときは、

東北大学学友会スキ一部現役名簿

	氏名 (部門)	学部	出身校
部長	青木 俊明	東北大学 国際文化研究科	
副部長	土屋 史紀	東北大学大学院 理学研究科	
監督	小林 幹太 (コンバインド)	理学部 化学科	

4年生	石橋 賢 (アルペン)	農学部	仙台第二
	岩佐 帆夏 (ランナー)	経済学部	札幌北
	尾崎 明 (コンバインド)	法学部	札幌南

	黒田 凜生 (マネージャー)	文学部	兵庫
	堀 倫彰 (ランナー)	理学部 地球科学系	世田谷学園
	渡部 新 (アルペン)	工学部 電気情報物理工	仙台第二

3年生	小澤 わかば (コンバインド)	工学部 建築	群馬県立中央中 等教育学校
	永島 史帆 (コンバインド)	工学部 機械知能航空工	開明
	村上 大空 (コンバインド)	工学部 機械知能航空工	松山東
	山田 唯人 (アルペン)	工学部 機械知能航空工	新潟

	山西 友貴 (ランナー)	工学部 電気情報物理工	大阪府立茨木
--	-----------------	----------------	--------

2年生	今井 敬裕 (ランナー)	経済学部	長田
	加藤 杏奈 (ランナー)	工学部 材料科学総合	仙台第一
	斎藤 瑛斗 (コンバインド)	理学部 物理系	市川
	澤田 真拓 (アルペン)	工学部 材料科学総合	弘前
	塩倉 颯瀬 (アルペン)	工学部 材料科学総合	盛岡第一
	田中 遼真 (コンバインド)	工学部 電気情報物理工	駒場東邦

	谷 祥太郎 (コンバインド)	工学部 電気情報物理工	山手学院
	西村 大佑 (ランナー)	工学部 機械知能航空工	春日
	宮崎 真瑛 (ランナー)	理学部 数学科	昌平
	吉田 湊人 (ランナー)	医学部 保健看護	大館鳳鳴
	渡邊 梓 (ランナー)	文学部	宇都宮

1年生	飯田 健斗	工学部 材料科学総合	千葉
	猪川 椋人	経済学部	清風南海

	岡野 祐也	工学部 電気情報物理工	栄東
	尾白 梓	農学部	浦和明の星女子
	菅野 由剛	農学部	桐朋
	齊藤 雅也	経済学部	成蹊
	品川 咲季	理学部 生物学科	札幌東
	鈴木 さくら	工学部 電気情報物理工	伊那北
	高田 光太郎	経済学部	前橋

	滝沢 周大	理学部 物理系	新潟
	谷口 聖実	工学部 機械知能航空工	旭川東
	安村 悠希	理学部 物理系	山口

東北大学学友会スキー部 OB・OG 名簿

第 62 号まで掲載しておりました住所（番地まで記載）・電話番号・メールアドレス・勤務先の情報は個人情報保護に関するご意見を頂戴しており、本号では掲載していません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。個人情報は土屋副部長(H5 卒)が管理していますので、必要な場合にはお問い合わせください(E メール: tsuchiya.f@tohoku.ac.jp)。個人情報の変更や修正についても土屋副部長までご連絡ください。

	氏名（在籍学部）	現住地
会長	工藤 博司（理学部化学科）	
S29 年卒	伊藤（永野）孝夫（教育学部） 高橋 公正（教育学部）	宮城
S30 年卒	鬼川 徹（医学部） 佐々木 一巳（工学部）	宮城
S31 年卒	千葉 忠男（工学部応用化学科）	
S32 年卒	井藤 栄二（農学部農芸化学科） 井畑 秋男（法学部） 加藤 洋（工学部精密工学科） 佐久間 泰彦（経済学部） 塩見 誠之輔（経済学部）	
S33 年卒	香坂 昌敬（工学部） 笛木 劭（法学部）	
S34 年卒	青山 孝朗（経済学部） 荒木 勉（工学部通信工学科） 伊藤 智康（法学部） 木名瀬 武男（工学部精密工学科） 鈴木 浩一（工学部機械工学科） 本沢 忠夫（理学部） 結城 諒（理学部）	大阪 埼玉 神奈川 神奈川
S35 年卒	小沢 紀男（工学部電気工学科） 小野寺 満憲（工学部機械工学科） 平間 重義（工学部建築学科）	神奈川
S36 年卒	石田 孝（経済学部） 内田 絢子（理学部生物学科）	神奈川

	氏名 (在籍学部)	現住地
	柴田 徹 (薬学部) 森 啓 (理学部地質学科)	宮城
S37 年卒	金ヶ崎 史朗 (理学部生物学科) 栗原 義郎 (理学部化学科) 山田 正俊 (工学部精密工学科)	東京 東京
S38 年卒	青山 浩志 (農学部食品化学科) 市川 民雄 (教育学部) 菊池 尚子 (医学部薬学科) 中村 彰太郎 (工学部機械工学科) 籙野 紘一 (農学部農芸学科) 日下 俊直 (農学部農学科)	千葉 栃木
S39 年卒	阿部 欣悦 (理学部数学科) 伊藤 憲克 (工学部) 加藤 孝 (農学部) 川畑 カズコ (教育学部) 菅野 興文 (農学部畜産学科) 工藤 博司 (理学部化学科) 富田 光彦 (法学部) 三十尾 延江 (医学部薬学科) 山品 寛一 (工学部建築学科) 吉田 睦男 (教育学部保健体育科) 渡辺 洋 (農学部水産学科)	神奈川 宮城 宮城 千葉 宮城 神奈川
S40 年卒	今枝 友明 (経済学部) 大井 柁雄 (工学部電子工学科) 鬼木 (栗原) 美枝子 (文学部美学科) 清水 紘治 (工学部機械工学科) 清水 (畑中) 典子 (文学部心理学科) 鈴木 正明 (法学部) 藤巻 公裕 (教育学部学校体育科)	東京 大阪 神奈川 千葉
S41 年卒	大熊 清二 (工学部機械工学科) 平野 耕一郎 (工学部 機械工学第二学科)	東京
S42 年卒	岡田 博文 (農学部) 河合 久嗣 (工学部電気工学科)	大阪

	氏名 (在籍学部)	現住地
	佐藤 佑 (教育学部) 高津 宣夫 (工学部精密工学科) 南部 諄一 (工学部精密工学第二学科) 武樋 政司 (法学部)	宮城 長野
S43 年卒	高田 潤一 (教育学部体育科) 田中 勝 (工学部電子工学科) 照井 頌二 (医学部) 中澤 徳郎 (工学部電子工学科) 新野 紘三 (工学部機械工学) 原田 有造 (工学部建築科) 松久 勝利	宮城 千葉 宮城
S44 年卒	片石 隆雄 (工学部金属材料工学科) 田中 和雄 (工学部金属材料工学科) 壺 富士雄 (経済学部)	東京
S45 年卒	植杉 健一 (歯学部) 蕪木 俊行 (文学部社会学科) 神谷 靖彦 (工学部電気系) 川田 正美 (工学部金属工学科) 櫻井 新一 (理学部地学系) 高木 顕 (理学部) 高橋 喜三雄 (経済学部) 二瓶 正 (工学部金属材料工学科) 半田 浩一 (理学部化学系) 矢口 弘志 (工学部 機械工学第二学科) 吉澤 静一 (工学部応用物理学科) 横山 雄二 (経済学部) 渡部 安雄 (工学部機械工学第二学科)	北海道 山形
S46 年卒	小島 照夫 (工学部機械工学第二学科) 幸前 徹 (工学部金属学科) 西沢 理 (医学部)	
S47 年卒	阿部 孝春 (理学部化学科) 奥井 栄一 (医学部薬学科) 佐野 満広 (農学部)	

	氏名（在籍学部）	現住地
	神 常雄（教育学部） 仲居 良文（法学部） 宮城 啓一（工学部機械工学科）	
S48 年卒	長谷川 明（工学部土木科） 平瀬 了（理学部数学科）	青森
S49 年卒	水村 哲夫（工学部金属系） 三田 常義（理学部物理学科）	宮城
S50 年卒	小牧 博一（工学部機械系） 鈴木 徹（工学部金属系） 長谷川 隆（工学部金属系） 藤井 隆宏（工学部電気系）	神奈川 東京
S51 年卒	塚越 隆二（農学部） 望月 達也（工学部土木科） 渡辺（遠藤）由美子（理学部化学系）	千葉
S52 年卒	秋田 仁（工学部機械工学科） 宇賀神 義宣 鹿野 敏彦（工学部建築学科） 鹿野 陽子（理学部地学科） 神長 耕二（工学部土木科） 生内 雄一（工学部金属工学科） 半沢（大江田）幸子（理学部） 三田（橋本）さえ子（文学部心理学科）	東京 宮城
S53 年卒	五十嵐 豊明（工学部電気工学科） 上條 敦（理学部物理学科） 高田 稔（工学部金属工学科） 堀松 政司（経済学部） 宮崎 豊（医学部）	埼玉
S54 年卒	渥美 宗英（工学部機械工学科） 荒井 正美（経済学部） 石川 知義（工学部機械工学科） 江村 寛（農学部） 遠藤 政市（工学部電気工学科） 鈴木 雅裕（法学部）	茨城

	氏名 (在籍学部)	現住地
	野呂 康宏 (工学部電気系) 村瀬 忠之 (工学部建築系)	
S55 年卒	藤戸 麦郷 (工学部金属工学科)	
S56 年卒	朝倉 俊一 (工学部機械工学科) 柏崎 正喜 (教育学部) 釜谷 靖 (工学部土木科) 上條 (熊倉) 直子 (文学部) 清水 (仕入) 真理子 (工学部機械工学科) 杉山 弘一 (工学部原子核学科) 杉山 (中井) 紀子 (農学部) 高橋 (千葉) かおる (文学部) 平間 義男 (工学部機械工学科) 山下 秀則 (教育学部) 山西 勇 (工学部機械工学科)	富山 富山 群馬 群馬 栃木
S57 年卒	上野 秀人 (工学部精密工学科) 上河 (鐘江) 範子 (理学部化学科) 川畑 賢 (工学部電子工学科) 清水 邦敏 (工学部精密工学科) 中川 万規人 (理学部物理学科) 水品 朱実 八重樫 誠司 (工学部金属工学科) 米田 善治 (経済学部)	宮城
S58 年卒	荒井 明 (工学部化学科) 石田 伸彦 (農学部) 下篠 憲 (工学部化学科) 関本 英雄 (工学部電気科) 高田 邦宏 (文学部) 竹部 幸夫 (法学部) 津田 邦男 (工学部電気科) 本波 英樹 (工学部建築科) 山本 直 (工学部機械科)	
S59 年卒	加藤 浩 (工学部応用物理科) 佐藤 和彦 (法学部)	

	氏名 (在籍学部)	現住地
	鈴木 道之 (工学部金属学科) 高木 英雄 (工学部応用物理科) 山口 浩人 (工学部土木科)	埼玉
S60 年卒	加藤 浩 (教育学部) 加藤 秀司 (法学部) 木村 浩之 (教育学部) 小林 郁雄 (理学部地学科) 島本 泰輔 (工学部金属科) 竹野 浩之 (工学部機械科) 結城 英治 (法学部)	
S61 年卒	喜多見 哲 (法学部) 佐藤 淳 (経済学部) 篠塚 重隆 (工学部原子核工学科) 宮崎 (野村) 純子 (工学部化学科)	
S62 年卒	猪股 正彦 (経済学部) 沖 忠美 (経済学部) 郷 孝志 (経済学部)	
S63 年卒	阿部 正登 (工学部原子核工学科) 鯨岡 秀紀 (理学部地学科) 近藤 晃 (工学部) 村主 正範 (経済学部) 鈴木 康裕 (法学部) 原田 潔 (経済学部経営) 日出間 純 (農学部農化) 牧田 晋 (法学部)	
H1 年	小笠原 和徳 (工学部原子核工学科) 外山 馨 (医学部) 高橋 美晴 (家政科) 塚田 崇 (工学部建築科) 前田 一人 (工学部原子核工学科) 湧田 憲一郎 (工学部金属科)	
H2 年卒	小野 信行 (工学部土木科) 風間 聡 (工学部土木科)	千葉 宮城

	氏名 (在籍学部)	現住地
	梶 哲郎 (工学部金属科) 櫻庭 政夫 (工学部電気工学科) 中井 俊 (工学部機械科) 森田 清二 (工学部建築)	宮城
H3 年卒	堀米 美輝 (宮城学院女子大) 三井 裕之 (工学部金属) 山下 健司 (法学部)	兵庫 大阪
H4 年卒	浅岡 由伸 (工学部電気) 亀田 佑一 (工学部金属) 仮屋 智由 (工学部金属) 小岩 秀行 (工学部機械) 小島 崇男 (工学部金属) 神保 誠二 (工学部土木) 西村 望 (理学部化学) 藤森 吉則 (工学部金属) 前田 昌彦 (工学部機械) 松村 武 (理学部物理) 四方 潤一 (工学部電気)	富山 兵庫 東京 愛知 神奈川 千葉 長野 愛知 広島 福島
H5 年卒	青木 俊明 (工学部原子核工学科) 小椋 (石飛) 真佐子 (医学部) 大鰐 紀夫 (法学部) 奥村 肇 (理学部物理) 菅 謙三朗 (工学部電気) 上坂 義仁 (工学部機械) 駒井 道子 (東北薬科大学) 佐々木 (鈴木) 広美 (東北薬科大学) 高橋 勲 (工学部金属) 高橋 紀子 (文学部) 筒井 寛明 (工学部機械) 野間 英樹 (工学部機械) 深堀 協子 (理学部地球物理) 牧田 誠司 (工学部建築) 宮田 大輔 (理学部天文) 向 展正 (工学部化学)	宮城 東京 東京 神奈川 神奈川 岩手 岐阜 神奈川 茨城 宮城 神奈川 広島

	氏名 (在籍学部)	現住地
	目黒 秋子 (文学部) 山田 みつき (理学部物理) 吉澤 拓也 (工学部資源)	PA, USA 東京 千葉
H6 年卒	石川 晃 (工学部電気) 河野 秀俊 (工学部電気) 川原 靖雄 (理学部数学) 君島 均 (工学部機械) 佐々木 右介 (工学部) 田中 英俊 (工学部電気) 曳沼 賢 (経済学部経営) 藤原 尚哉 (理学部化学) 渡辺 健 (工学部電気)	
H7 年卒	河辺 伸 (経済学部) 木野 幸一 (理学部物理) 高橋 知子 (東北薬科大学) 竹田 史彦 (工学部機械) 土屋 史紀 (理学部地球科学) 永井 真貴子 (医学部) 根本 美穂子 (文学部) 山内 貴代 (東北薬科大学)	
H8 年卒	阿相 和良 (工学部化学) 足立 将孝 (工学部化学) 石川 (岡田) 久子 (工学部土木) 倉持 嘉徳 (工学部原子核) 隅谷 宗太 (理学部物理) 平田 直哉 (工学部土木) 森 工 (工学部電気) 八木 卓雄 (文学部)	東京 新潟
H9 年卒	岡島 康雄 (理学部物理) 榊原 健二 (工学部物理情報)	
H10 年卒	石倉 綾 (農学部生体分子) 鈴木 正彦 (工学部電気) 中村 哲平 (農学部生体分子)	

	氏名（在籍学部）	現住地
	細田 悦央（工学部機械知能）	
H11 年卒	安保 寛（法学部） 小野木 伯薫（工学部機械知能） 岩満（渡辺）幸子（工学部機械知能）	
H12 年卒	小野 寛明（工学部人間環境） 小林 大輔（工学部機械知能） 中村（坂口）智絵（工学部化学バイオ） 中村 健嗣（工学部機械知能）	宮城 愛知 東京 東京
H13 年卒	石橋 和彦（工学部機械知能） 辻 祐介（工学部電子応物情報）	神奈川 東京
H14 年卒	大原 祥平（理学部地学系） 北明 基史（理学部生物系） 田中 倫久（理学部地学系） 田中 亮（理学部物理系） 久永 茂生（工学部人間環境）	
H15 年卒	大学 紀二（工学部化学バイオ） 牧野 義和（理学部地学系）	三重 東京
H16 年卒	伊丹 太一（農学部） 工藤 武大（文学部） 宮澤 孝裕（工学部機械知能）	東京 秋田 愛知
H17 年卒	西 宏介（経済学部） 野澤 圭（工学部マテリアル開発） 藤田 健（文学部） 村田 浩道（工学部電子応物情報）	岡山 愛知 静岡 神奈川
H18 年卒	石塚 真喜（法学部） 堀井 泰之（理学部物理）	
H19 年卒	中矢 博樹（理学部物理系） 柴崎 晃（工学部人間環境） 杉下 裕樹（理学部物理系）	
H20 年卒	岡部 昭彦（工学部機械知能） 谷澤 朋有（理学部）	
H21 年卒	秋保 直弘（工学部機械知能）	

	氏名（在籍学部）	現住地
	齋藤 和輝（農学部） 丸島 直史（理学部地学系） 保田 一光（理学部地学系） 吉田 大樹（工学部機械知能）	
H22 年卒	出口 幸治（工学部機械知能）	東京
H23 年卒	鈴木 清暁（法学部） 武井 俊憲（理学部化学系） 内藤（東谷）綾華（理学部物理系） 天野 文子（	大阪 東京 埼玉
H24 年卒	安藤 樹（理学部物理系） 藤原（高橋）晶（工学部情報知能システム総合） 仁保 千秋（歯学部歯学科） 村上（福田）志帆（経済学部）	大阪 栃木 東京
H25 年卒	河田 泰明（工学部） 小林 東史（薬学部） 佐藤 由良（工学部機械知能） 千葉 貴司（理学部物理系）	埼玉 富山
H26 年卒	安藤 努（文学部） 伊藤 一成（理学部物理系） 緒方 健人（理学部化学系） 袖野 太士（工学部建築） 高橋 愛子（農学部） 船田 尚（理学部化学系） 三澤 公希（工学部建築） 平野 弘幸（教育学部）	愛知 中国
H27 年卒	石溪 惇哉（経済学部） 佐藤 嵩浩（工学部情報知能） 鈴木 智也（工学部情報知能） 鈴木 優子（理学部化学系） 永井 裕（法学部） 中島 稜介（理学部物理系） 宮崎 伸彦（理学部物理系） 湯澤 樹（理学部地学系）	

	氏名 (在籍学部)	現住地
	蓬田 貴裕 (工学部情報知能)	
H28 年卒	石井 智樹(工学部化学バイオ工) 稲永 久信 (経済学部) 笠間 桂太(理学部物理系) 高道 範武 (工学部機械知能・航空工) 田口 晃史 (理学部化学系) 田光 巧弥(農学部) 時田 紘太郎 (理学部生物系) 南波 和希 (理学部物理系) 丹羽 祥太(農学部) 長谷川 源 (理学部物理系) 松田 敬太郎 (工学部化学バイオ工) 望月 潤 (理学部生物系) 務台 光平 (工学部化学バイオ工) 村上 日向 (理学部生物系) 山井 尚也 (工学部機械知能・航空工)	
H29 年卒	穴田 柚冬 (工学部化学バイオ工) 割田 伊織 (工学部機械知能・航空工) 上村 舞夏 (文学部) 大嶽 晶子 (文学部) 小池 祥央 (文学部) 小関 美里 (農学部) 嶋田 瑞生 (経済学) 坂内 野乃	
H30 年卒	草原 直樹 (工学部建築社会環境工) 久保田 健太 (工学部材料科学総合) 志田 友香 (工学部化学バイオ工) 鈴木 来夢 (理学部地球科学系) 竹重 龍一 (理学部生物系) 照沼 敬洋 (理学部化学系) 中嶋 成佳 (工学部材料科学総合) 林 荘也 (理学部化学系) 八木 さくら (経済学部) 山下 毅 (工学部材料科学総合)	

	氏名 (在籍学部)	現住地
	渡邊 真澄 (医学部保健学科) 渡部 楽 (理学部化学系)	
H31 年卒	稲村 麟 (工学部機械知能・航空工) 及川 絵梨 (工学部機械知能・航空工) 栗谷 京生 (工学部電気情報物理工) 小泉 慶次郎 (理学部化学系) 小柴 黎斗 (工学部電気情報物理工) 長谷川 就 (工学部化学バイオ工) 原 一貴 (工学部材料科学総合) 平山 悠暉 (工学部機械知能・航空工) 務台 雄斗 (工学部建築社会環境工) 森田 陽 (工学部建築社会環境工) 山根 萌 (教育学部) 吉田 圭 (工学部電気情報物理工)	福岡 宮城 岩手 大阪 東京 茨城 静岡 埼玉 神奈川 東京 東京 北海道
R1 年卒	青木 佑海 (文学部) 木村 香穂 (法学部) 串田 拓也 (法学部) 新海 孝洋 (理学部化学系) 竹井 しのぶ (理学部物理系) 古畑 和樹 (工学部機械知能・航空工) 正橋 遼 (工学部電気情報物理工) 松尾 優太郎 (工学部材料科学総合工) 三竿 洋太郎 (理学部化学系)	
R 2 年卒	浅野 颯太 (工学部電気情報物理工) 池田 翔 (工学部機械知能・航空工) 大沼 恭子 (医学部保健学科) 島田 菜理紗 (文学部) 白木 悠大 (理学部化学系) 高野 祥徳 (経済学部) 手塚 尚吾 (工学部機械知能・航空工) 藤野 寛司 (経済学部) 細井 拓真 (経済学部)	

	氏名 (在籍学部)	現住地
R3 年卒	榮治 智之 (工学部機械知能・航空工) 岡田 拓歩 (農学部) 小林 幹太 (理学部化学系) 志関 弘平 (理学部地球化学系) 橘 紀昌 (理学部生物系) 保達 洋 (法学部)	
R4 年卒	鈴木 昂 (経済学部経営学科) 高橋 諒 (医学部保健学科放射線技術科学専攻) 中田 和真 (経済学部経営学科) 大坪 奏祐 (工学部材料化学総合学科)	

逝去会員	
	氏名 (在籍学部)
初代部長	加藤 愛雄
初代副部長	柳原 正 八木 建三
第二代部長	北村 仁
特別会員	佐藤 昭男 手塚 敬裕 森 博
S29 年卒	佐藤 林平 (教育学部) 島田 郁夫 (教育学部)
S30 年卒	森 昌造 (医学部) 吉田 裕 (文学部) 岩波 勝 (法学部) 石井 孝治 (教育学部)
S31 年卒	佐藤 陽二 (井上) (教育学部) 宍戸 俊夫 (工学部機械工学科) 本田 健治 (工学部機械工学科)
S32 年卒	結城 確 (歯学部) 富田 恭造 (工学部金属工学科)

逝去会員	
	氏名 (在籍学部)
S33 年卒	菅原 俊成 (農学部水産学科)
S35 年卒	山田 文彌 (工学部) 山室 正章 (理学部物理学科)
S36 年卒	松本 弘子 (坂本) (理学部化学系)
S37 年卒	佐藤 周子 (武田) (医学部医学科) 高頭 正行 (経済学部) 佐藤 多助 (教育学部) 三玉 立朗 (経済学部)
S38 年卒	渡辺 高峯 (工学部精密工学科)
S39 年卒	竹内 興二 (工学部通信学科)
S41 年卒	植木 昌範 (経済学部)
S44 年卒	五十嵐 博之 (工学部金属材料工)
S46 年卒	川島 清 (経済学部) 肥後 哲郎 (工学部建築)
S47 年卒	四野宮 輝雄 (経済学部)
S51 年卒	安達 忠衛 (農学部)
H11 年卒	三浦 郁奈子 (工学部機械知能)

ブナの森 玉原高原 ペンション
バン・デ・ルージュ

Vin de Rouge



交通：関越自動車道沼田ICより35分

玉原スキーパークの目の前です。(11月末より5月連休まで滑走可能)

クロスカン트리スキー、山スキーにも最適。春はブナの新緑や玉原湿原のミズバショウ。夏はテニス、ハイキング、登山、サイクリングなど。ラベンダー園では夏山リフト運行中。ラフティング(激流下り)、カヌー、パラグライダーの体験教室あり。秋にはブナの森の紅葉の中でぶどう狩り、リンゴ狩り、きのこ狩り。

萩雪会の皆様のおいでお待ちしております。(56年卒杉山)

〒378-0071 群馬県沼田市上発知町玉原高原 Tel 0278-23-9114

—広告協賛一覧—

ご協力ありがとうございました。

バン・デ・ルージュ

蔵王温泉観光(株)

メンズヘアージェントルマン

(有)伊東与三郎商店

堀畜産 (有)

けんと

スキー部冬季宿泊先：
東北大学萩雪ヒュッテ
山形県山形市蔵王温泉 820-1
TEL 023-694-9094

スキー部口座：
郵便振替口座 02200-4-19520

編集後記

SPUR67号の編集・発行は、山田唯人、今井敬裕、澤田真拓、渡邊梓で務めさせていただきました。誤りのないようには努めましたが、誤字・脱字等を見つけたら、ご連絡お願い致します。

SPUR	第67号
発行年	令和5年
発行所	東北大学学友会スキー部 〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1
発行者	山田唯人
編集者	今井敬裕 澤田真拓 渡邊梓
印刷所	プリントコープ 東北大学片平校舎 学生協内

スキー部ホームページアドレス：

<http://ski-tohoku.main.jp/>

右のQRコードからもアクセスできます。

最新の活動状況は、こちらでご覧になれます。



スキー部ブログアドレス：

<https://ameblo.jp/tohokuski/>

問い合わせ先

ski.racing.tohoku@gmail.com